

注3

大学番号：国066

[平成28年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

山口大学大学院 創成科学研究科

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山口大学

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部企画・評価課

職名・氏名 企画係長 オオシマ ヨウスケ  
大島 祐輔

電話番号 083-933-5916

（夜間） 083-933-5916

F A X 083-933-5959

e-mail sh041@yamaguchi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 創成科学研究科

＜自然科学系専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

＜物質工学系専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	36
2. 授業科目の概要	40
3. 施設・設備の整備状況、経費	44
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	45
5. 教員組織の状況	49
6. 留意事項等に対する履行状況等	63
7. その他全般的事項	64

＜システム・デザイン工学系専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	66
2. 授業科目の概要	70
3. 施設・設備の整備状況、経費	74
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	75
5. 教員組織の状況	79
6. 留意事項等に対する履行状況等	93
7. その他全般的事項	94

<環境共生系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	96
2. 授業科目の概要	100
3. 施設・設備の整備状況、経費	106
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	107
5. 教員組織の状況	111
6. 留意事項等に対する履行状況等	129
7. その他全般的事項	130

<ライフサイエンス系専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	132
2. 授業科目の概要	136
3. 施設・設備の整備状況、経費	140
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	141
5. 教員組織の状況	145
6. 留意事項等に対する履行状況等	158
7. その他全般的事項	159

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

## (2) 大学名

山口大学

## (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677番地1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			該当なし
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月)	(ツツミ ヒロモリ) 堤 宏守 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成30年4月1日 (30)
専攻長	(シライシ キヨシ) 白石 清 (平成28年4月)	<del>(ヒロサワ フミヒコ)</del> <del>(アサヒ タカナオ)</del> 廣澤 史彦 朝日 孝尚 <del>(平成29年4月)</del> (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月(29) 変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 自然科学系専攻 (博士後期課程)  博士(理学) 博士(学術)	理学関係	3年	7人	21人	基礎となる学部等  理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	7人	人	7人	人	7人	人			0.61倍	
志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
B 入学者数	2	0	5	1	5					
入学定員超過率 B/A	0.28		0.85		0.71					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	2 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	5 [ - ] ( - )	1 [ - ] ( - )	5 [ - ] ( - )	1 [ - ] ( - )	
2年次	/		2 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	5 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	
3年次			/				2 [ - ] ( - )
計	2 [ - ] ( - )				8 [ - ] ( - )		13 [ - ] ( - )

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	2人	0人	平成28年度	人	人	
平成29年度	8人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	13人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	23人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下      ・学力不足      ・他の教育機関への入学・転学      ・海外留学  
                                  ・就職      ・学生個人の心身に関する事情      ・家庭の事情      ・除籍      ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	【研究基盤科目】													
	研究者行動規範特論	1前	1										1	
	知的財産特論	1後	1										2	
	サイエンスコミュニケーション	1前		1									2	
	プレゼンテーション特論	1後		1									2	
	【イノベーション教育科目】													
	リサーチメソッド特論	1・2前		2									1	
	イノベーション特論	1・2前		2									1	
	技術ロードマップ特論	1・2後		2									1	
	製品開発特論	1・2後		2									1	
	【キャリア教育科目】													
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1							1	
	学外特別研修Ⅱ	1・2・3 前・後		1~4		1								
	長期インターンシップⅡ	1・2・3 前・後		6		1								
	専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			28	22	5	3				4
		数理複系科学特論	1・2後	2			7	6	1	1				
自然システム科学特論		1・2前	2			6								
自然科学特別講究Ⅰ		1・2・3通	2			28	22	5	3				4	
自然科学特別講究Ⅱ		1・2・3通	2			28	22	5	3				4	
自然科学ゼミナール		1・2・3通	2			28	22	5	3				4	
学外特別実習		2・3通	2			28	22	5	3				4	
サイエンス特別実習Ⅰ		1・2・3通	2			28	22	5	4				4	
サイエンス特別実習Ⅱ		1・2・3通	2			28	22	5	4				4	
複雑系数学特論Ⅰ		1・2前	2			2								
複雑系数学特論Ⅱ		1・2後	2			1	1							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	【研究基盤科目】													
	研究者行動規範特論	1前	1										1	
	知的財産特論	1後	1										2	
	サイエンスコミュニケーション	1前		1									2	
	プレゼンテーション特論	1後		1									2	
	【イノベーション教育科目】													
	リサーチメソッド特論	1・2前		2									1	
	イノベーション特論	1・2前		2									1	
	技術ロードマップ特論	1・2後		2									1	
	製品開発特論	1・2後		2									1	
	【キャリア教育科目】													
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1							1	
	学外特別研修Ⅱ	1・2・3 前・後		1~4		1								
	長期インターンシップⅡ	1・2・3 前・後		6		1								
	専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			27	23	6	5				4
		数理複系科学特論	1・2後	2			4	7	2					
自然システム科学特論		1・2前	2			6								
自然科学特別講究Ⅰ		1・2・3通	2			27	23	6	5				4	
自然科学特別講究Ⅱ		1・2・3通	2			27	23	6	5				4	
自然科学ゼミナール		1・2・3通	2			27	23	6	5				4	
学外特別実習		2・3通	2			27	23	6	5				4	
サイエンス特別実習Ⅰ		1・2・3通	2			27	23	6	5				4	
サイエンス特別実習Ⅱ		1・2・3通	2			27	23	6	5				4	
複雑系数学特論Ⅰ		1・2前	2			2								
複雑系数学特論Ⅱ		1・2後	2			1	1							

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成28年度】**

- ・教育効果充実のため、「研究者行動規範特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「知的財産特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「サイエンティフィック・ライティング」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「プレゼンテーション特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「リサーチメソドロジー特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「技術ロードマッピング特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「製品開発特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「教授1・兼1」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定により、「最先端自然科学研究科目」の専任教員等の配置を「教授26、准教授23、講師7、助教6、兼4」から「教授28、准教授22、講師5、助教3、兼4」に変更。
- ・教育効果充実のため、「数理複雑系科学特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・具体的な担当教員の確定により、「数理複雑系科学特論」の専任教員等の配置を「教授16・准教授13・講師5・助教4・兼2」から「教授7・准教授6・講師1・助教1・兼2」に変更。
- ・具体的な担当教員の確定により、「自然システム科学特論」の専任教員等の配置を「教授10・准教授10・講師2・助教2・兼2」から「教授6・兼2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定により、「自然科学特別講究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授26・准教授23・講師7・助教6・兼4」から「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定により、「自然科学特別講究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授26・准教授23・講師7・助教6・兼4」から「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定により、「自然科学ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授26・准教授23・講師7・助教6・兼4」から「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定により、「学外特別実習」の専任教員等の配置を「教授26・准教授23・講師7・助教6・兼4」から「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定により、「サイエンス特別実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授26・准教授23・講師7・助教6・兼4」から「教授28・准教授22・講師5・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定により、「サイエンス特別実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授26・准教授23・講師7・助教6・兼4」から「教授28・准教授22・講師5・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「複雑系数理学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「代数系特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・具体的な担当教員の確定により、「空間構造特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「空間構造特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職、採用により、「応用数理学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の退職、採用により、「応用解析学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員追加により、「相転移科学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・准教授1・講師1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「宇宙論特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2・准教授1・兼1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「電波天文学特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「准教授1・兼1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員追加により、「ソフトマター科学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・准教授1・助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「システム情報科学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員追加により、「ネットワーク科学特論」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「教授1、助教2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「固体物性化学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「電子物理化学特論」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「地殻・マントル構成物質学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「地球物質循環学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「地球変動学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「地球環境学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。

**【平成29年度】**

- ・担当教員の退職、昇任及び採用により、「最先端自然科学研究科目」の専任教員等の配置を「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」から「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」に変更。
- ・担当教員の確定により、「数理複雑系科学特論」の専任教員等の配置を「教授7・准教授6・講師1・助教1・兼2」から「教授4・准教授7・講師2・兼2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び採用により、「自然科学特別講究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」から「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び採用により、「自然科学特別講究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」から「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び採用により、「自然科学ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」から「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び採用により、「学外特別実習」の専任教員等の配置を「教授28・准教授22・講師5・助教3・兼4」から「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び採用により、「サイエンス特別実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授28・准教授22・講師5・助教4・兼4」から「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任及び採用により、「サイエンス特別実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授28・准教授22・講師5・助教4・兼4」から「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」に変更。
- ・教育効果充実のため、「代数系特論Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果充実のため、「空間構造特論Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・担当教員の退職により、「量子相関系特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「宇宙論特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・兼1」から「教授2・助教1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員追加により、「電波天文学特論」の専任教員等の配置を「准教授1・兼1」から「准教授1・助教1・兼1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「ソフトマター科学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・助教1」から「教授1・准教授1・助教1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員追加により、「システム情報科学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「ネットワーク科学特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教2」から「教授1・講師1・助教1」に変更。
- ・教育効果充実のための担当教員変更により、「応用地球科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・教育効果充実のため、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任により、「最先端自然科学研究科目」の専任教員等の配置を「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」から「教授26・准教授22・講師7・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の確定により、「数理複雑系科学特論」の専任教員等の配置を「教授4・准教授7・講師2・兼2」から「教授7・准教授2・講師3・助教3・兼2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任により、「自然科学特別講究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」から「教授26・准教授22・講師7・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任により、「自然科学特別講究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」から「教授26・准教授22・講師7・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任により、「自然科学ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」から「教授26・准教授22・講師7・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任により、「学外特別実習」の専任教員等の配置を「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」から「教授26・准教授22・講師7・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任により、「サイエンス特別実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」から「教授26・准教授22・講師7・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任により、「サイエンス特別実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授27・准教授23・講師6・助教5・兼4」から「教授26・准教授22・講師7・助教4・兼4」に変更。
- ・担当教員の退職により、「空間構造特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「応用数理科学特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「ソフトウェア科学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「システム情報科学特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果充実のため、「数理モデリング特論」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教育効果充実のため、「ネットワーク科学特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・担当教員の退職により、「地球物質循環学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	47 科目	科目	50 科目	3 科目 [ ]	47 科目 [ ]	科目 [ ]	50 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{50} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	区分の見直しによる変更(30)					
	校舎敷地	413,643 360,369 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	413,643 360,369 m <sup>2</sup>						
	運動場用地	127,053 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	127,053 m <sup>2</sup>						
	小 計	540,696 487,422 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	540,696 487,422 m <sup>2</sup>						
	そ の 他	64,370 117,644 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	64,370 117,644 m <sup>2</sup>						
	合 計	605,066 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	605,066 m <sup>2</sup>						
(2) 校 舎	専 用	391,082 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	391,082 m <sup>2</sup>						
	( 391,082 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 391,082 m <sup>2</sup> )							
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体					
	103 室	702 室	787 室	5 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	創成科学研究科自然科学系専攻			64 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分を含む  教育研究の充実及び購入計画の見直し等による変更(30)			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
		冊	種	[うち外国書]					点	点	点
		創成科学研究科 自然科学系専攻	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885]	10,217 [6,056] 7,415 [6,152]					3,773 3,336	16 153	0
計	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885]	10,217 [6,056] 7,415 [6,152]	3,773 3,336	16 153	0						
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	13,063m <sup>2</sup>		1,590 席		1,501,056 冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体			
	6,956 m <sup>2</sup>		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)		
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
【学部】									
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (人文学部：人文社会学科, 言語文化学科)
人文学科	4	185	-	555	学士 (文学)	1.06	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (教育学部：実践臨床教育課程, 情報科学教育課程, 健康科学教育課程, 総合文化教育課程)
学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士 (教育学)	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成元年度		
経済学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (経済学部：国際経済学科, 経済法学科, 商業教員養成課程)
経済学科	4	130	-	520	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	660	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和52年度		
経済法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	昭和55年度		
観光政策学科	4	50	-	200	学士 (経済学)	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和29年度		
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.08	平成18年度		
医学部			2年次					山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成30年度より3年次編入学生募集停止 (医学部保健学科)
医学科	6	107	10	692	学士 (医学)	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	-	495	学士 (看護学, 保健学)	1.01	平成12年度		

工学部			3年次					山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	5	370	学士 (工学)	1.07	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.02	平成19年度		
			3年次						
電気電子工学科	4	80	5	330	学士 (工学)	1.03	平成2年度		
			3年次						
知能情報工学科	4	80	10	340	学士 (工学)	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.06	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.07	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	※平成24年度より 学生募集停止（農 学部獣医学科）
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.02	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度		
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.04	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	400	学士 (学術)	1.04	平成27年度		
【大学院】									
人文科学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.62	平成28年度		
教育学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.35	平成3年度		
教科教育専攻	2	17	-	34	修士 (教育学)	1.05	平成3年度		
(専門職学位課程)									
教職実践高度化専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度		
経済学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士 (経済学)	0.81	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.70	平成7年度		

<b>医学系研究科</b>							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止 (医学系研究科： (一貫制博士課程) システム統御医学系専攻、情報解析医学系専攻、(博士前期課程)応用医工学専攻、(博士後期課程)応用医工学系専攻、応用分子生命科学系専攻)	
(一貫制博士課程)									
医学専攻	4	33	-	99	博士 (医学)	0.93			平成28年度
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
(博士前期課程)									
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士 (医工学)	-			平成13年度
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (保健学)	1.08			平成17年度
(博士後期課程)									
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士 (医工学)	-			平成13年度
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学、学術)	-			平成18年度
保健学専攻	3	5	-	15	博士 (保健学)	0.86			平成19年度
<b>創成科学研究科</b>									山口県山口市吉田1677番地1
(博士前期課程)									
基盤科学系専攻	2	38	-	76	修士 (理学)	0.98	平成28年度		
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	84	修士 (理学)	1.05	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	0.95	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	148	修士 (工学)	0.81	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	166	修士 (工学、学術)	0.95	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	214	修士 (工学)	0.96	平成28年度		
農学系専攻 <small>(鳥取大学大学院 連合農学研究科に参加)</small>	2	42	-	84	修士 (農学、生命科学)	0.66	平成28年度		
(博士後期課程)									
自然科学系専攻	3	7	-	21	博士 (理学、学術)	0.61	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	30	博士 (工学、学術)	0.76	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	36	博士 (工学、学術)	1.05	平成28年度		
物質工学系専攻	3	8	-	24	博士 (工学、学術)	0.41	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	21	博士 (医工学、生命科学、学術)	1.09	平成28年度		
<b>理工学研究科</b>							山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (理工学研究科： (博士後期課程)自然科学基盤系専攻、物質工学系専攻、システム設計工学系専攻、情報・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻)	
(博士後期課程)									
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-			平成18年度
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-			平成18年度
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度		



情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士 (理学, 工学, 学術)	-	平成18年度		
東アジア研究科 (博士後期課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士 (学術)	1.13	平成13年度		
技術経営研究科 (専門職学位課程)								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営 修士 (専門職)	1.36	平成17年度		
連合獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	4	-	40	博士 (獣医学)	1.62	平成2年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鳥取大学 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	平成30年度入学定員減(△8人) (連合獣医学研究科：獣医学専攻)
共同獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	6	-	6	博士 (獣医学)	1.16	平成30年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	朝日 孝尚 <平成28年4月> 相転移科学特論 宇宙論特論 結晶物性学特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	専	教授	朝日 孝尚 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	専	教授	朝日 孝尚 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II
		白石 清 <平成28年4月> 宇宙論特論 量子相関系特論 電波天文学特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II			白石 清 <平成28年4月> 宇宙論特論 量子相関系特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II <b>学外特別研修 II 長期インターンシッ プ II</b>			白石 清 <平成28年4月> 宇宙論特論 量子相関系特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II
		野崎 浩二 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 ソフトマター科学特 論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II			野崎 浩二 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 ソフトマター科学特 論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II			野崎 浩二 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 ソフトマター科学特 論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II
		坂井 伸之 <平成28年4月> 宇宙論特論 量子相関系特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II			坂井 伸之 <平成28年4月> 宇宙論特論 量子相関系特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II			坂井 伸之 <平成28年4月> 宇宙論特論 量子相関系特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II
専	准教授	戸田 正巳 <平成28年4月> 量子相関系特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	専	准教授	戸田 正巳 <平成28年4月> 量子相関系特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	専	准教授	
		笠野 裕修 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II			笠野 裕修 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II			笠野 裕修 <平成28年4月> 相転移科学特論 結晶物性学特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
専	准教授	新沼 浩太郎 <平成28年4月>	専	准教授	新沼 浩太郎 <平成28年4月>	専	准教授	新沼 浩太郎 <平成28年4月>	専	准教授	新沼 浩太郎 <平成28年4月>
		最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			
専	助教	藤原 哲也 <平成28年4月>	専	講師	藤原 哲也 <平成28年4月>	専	講師	藤原 哲也 <平成28年4月>	専	講師	藤原 哲也 <平成28年4月>
		最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			
専	助教	新規採用予定 (-) <平成28年4月>	専	助教	堀川 裕加 <平成28年4月>	専	助教	堀川 裕加 <平成28年4月>	専	講師	堀川 裕加 <平成30年4月>
		最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			
専	助教	新規採用予定 (-) <平成28年4月>	専	助教	野崎 隆之 <平成28年4月>	専	講師	野崎 隆之 <平成29年4月>	専	講師	野崎 隆之 <平成29年4月>
		最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義Ⅰ 自然科学特別講義Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ			

















専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	藤原 勇 <平成28年4月> 溶液反応化学特論 最先端自然科学研究 科目 自然システム科学特 論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	兼任	准教授	藤原 勇 <平成28年4月> 溶液反応化学特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	兼任	准教授	藤原 勇 <平成28年4月> 溶液反応化学特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	兼任	准教授	藤原 勇 <平成28年4月> 溶液反応化学特論 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II
		兼任			准教授			兼任			准教授
兼任	准教授	杉井 学 <平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	兼任	准教授	杉井 学 <平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	兼任	准教授	杉井 学 <平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II	兼任	准教授	杉井 学 <平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 自然科学特別講義 I 自然科学特別講義 II 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II
		兼任			准教授			兼任			准教授
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論	兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論	兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論	兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
		兼任			准教授			兼任			准教授
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論	兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論	兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論	兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
		兼任			教授			兼任			教授
兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論	兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論	兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論	兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論
		兼任			准教授			兼任			准教授
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング	兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング	兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング	兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング
		兼任			講師			兼任			講師
兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング	兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング	兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング	兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィッ ク・ライティング
		兼任			講師			兼任			講師
兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論
		兼任			教授			兼任			教授
兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論
		兼任			准教授			兼任			准教授
兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論	兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論	兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論	兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> イノベーション特論
		兼任			准教授			兼任			准教授
兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマップ 特論 製品開発特論	兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマップ 特論 製品開発特論	兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマップ 特論 製品開発特論	兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマップ 特論 製品開発特論
		兼任			教授			兼任			教授
											山中 明 <平成30年4月> キャリアデザイン II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		増山 博行
兼任	アド バイザー	<平成28年4月> キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		増山 博行
兼任	アド バイザー	<平成28年4月> キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		増山 博行
兼任	アド バイザー	<平成28年4月> キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		増山 博行
兼任	アド バイザー	<平成28年4月> キャリアデザインⅡ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・平成27年4月堀川助教、野崎助教就任。
- ・平成27年4月廣澤准教授、末竹准教授、坂口准教授が教授へ昇任。
- ・平成27年1月梅田助教就任。
- ・平成28年1月藤原助教が講師へ昇任。
- ・平成28年4月堀田講師、柳下講師、檜木野助教就任。
- ・平成28年4月鍛冶講師、大関講師、谷講師が准教授へ昇任。
- ・平成28年4月4月鈴木助教が准教授へ昇任。
- ・平成28年4月白石教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月新沼准教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月藤原講師の担当科目を変更。
- ・平成28年4月堀川助教の担当科目を変更。
- ・平成28年4月野崎助教の担当科目を変更。
- ・平成28年4月松野教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月堀田講師の担当科目を変更。
- ・平成28年4月脇田教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月志村教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月永島教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月坂口教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月大橋講師の担当科目を変更。
- ・前職引き継ぎ等の理由により、太田准教授の就任が平成28年4月から平成28年6月に遅延。
- ・兼任教員である藤澤教授の担当科目を変更。

【平成29年度】

- ・平成28年6月太田准教授就任。
- ・平成28年10月元木助教就任。
- ・平成29年3月韓准教授就任。
- ・平成29年3月山本教授、声田准教授が定年退職。
- ・平成29年4月齊藤助教就任。
- ・平成29年4月野崎助教が講師へ昇任。
- ・平成29年4月廣澤教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月幡谷准教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月大関准教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月西井教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月檜木野助教の担当科目を変更。
- ・平成29年4月太田准教授の担当科目を変更。

【平成30年度】

- ・平成30年3月他大学へ就職のため、鍛冶准教授、梅田助教が辞任。
- ・平成30年3月今岡教授が定年退職。
- ・平成30年4月堀川助教が講師へ昇任。
- ・平成30年4月増本教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月菊政教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月朝日教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月白石教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月Adrien准教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月兼任教員として、山中教授就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
26	23	7	6	62	26	22	7	4	59	26	22	7	4	59
(28)	(22)	(5)	(5)	(60)						[ ]	[Δ1]	[ ]	[Δ2]	[Δ3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
32	29	1			30	29	0			30	29	0		
(32)	(27)	(1)								[Δ2]	[ ]	[Δ1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{59}{62} = \boxed{95.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{59} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	柳 研二郎	選択	応用数理学特論	①	H28.3.31 特命教員として就任予定であったが、本人の都合により就任辞退(28)			
			選択	応用解析学特論	①				
			必修	最先端自然科学研究科目	①				
			選択	数理複雑系科学特論	①				
			選択	自然科学特別講究Ⅰ	①				
			選択	自然科学特別講究Ⅱ	①				
			選択	自然科学ゼミナール	①				
			選択	学外特別実習	①				
			選択	サイエンス特別実習Ⅰ	①				
2	准教授	ANTHOY HOYSTED	必修	最先端自然科学研究科目	①	H28.3.31 本人の都合により就任辞退(28)			
			選択	数理複雑系科学特論	①				
			選択	自然科学特別講究Ⅰ	①				
			選択	自然科学特別講究Ⅱ	①				
			選択	自然科学ゼミナール	①				
			選択	学外特別実習	①				
			選択	サイエンス特別実習Ⅰ	①				
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	9 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	鍛冶 静雄	選択	空間構造特論Ⅱ	①	H30.3.31付け他大学へ就職のため辞任(30)			
			必修	最先端自然科学研究科目	①				
			選択	数理複雑系科学特論	①				
			選択	自然科学特別講究Ⅰ	①				
			選択	自然科学特別講究Ⅱ	①				
			選択	自然科学ゼミナール	①				
			選択	学外特別実習	①				
			選択	サイエンス特別実習Ⅰ	①				
2	助教	梅田 陽子				H30.3.31付け他大学へ就職のため辞任(30)			
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
4 人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	19	科目	計	19	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{62} = \boxed{6.45} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	山本 隆	選択	ソフトウェア科学特論	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (30)							
			必修	最先端自然科学研究科目	①								
			選択	数理複雑系科学特論	①								
			選択	自然科学特別講究Ⅰ	①								
			選択	自然科学特別講究Ⅱ	①								
			選択	自然科学ゼミナール	①								
			選択	学外特別実習	①								
			選択	サイエンス特別実習Ⅰ	①								
2	准教授	芦田 正巳	選択	量子相関系特論	①	H29.3.31付け63歳で定年退職 (30)							
			必修	最先端自然科学研究科目	①								
			選択	数理複雑系科学特論	①								
			選択	自然科学特別講究Ⅰ	①								
			選択	自然科学特別講究Ⅱ	①								
			選択	自然科学ゼミナール	①								
			選択	学外特別実習	①								
			選択	サイエンス特別実習Ⅰ	①								
3	教授	今岡 照喜	選択	地球物質循環学特論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)							
			必修	最先端自然科学研究科目	①								
			選択	自然科学特別講究Ⅰ	①								
			選択	自然科学特別講究Ⅱ	①								
			選択	自然科学ゼミナール	①								
			選択	学外特別実習	①								
			選択	サイエンス特別実習Ⅰ	①								
			選択	サイエンス特別実習Ⅱ	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
3	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 担当科目は他に担当教員がいるため支障はない。
「学生への周知方法」 研究科要覧により周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 自然科学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FDについては、教務委員会の副委員長が担当している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員相互の授業参観（ピア・レビュー）</li> <li>・ FD研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピア・レビューは分野ごとに、研修会は全分野合同で実施している。</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD研修会 2回（平成29年9月8日教育改善関係39名出席，平成30年3月14日受入留学生関係51名出席）</li> <li>・ ピア・レビュー 6回（数理科学分野1回，物理・情報科学分野2回，化学分野2回，地球科学分野1回）</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 問題点を共有し，次年度の授業実施の改善に向けた活発な意見交換が出来た。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年2回（前期1回，後期1回）授業評価アンケートを実施している。</li> </ul> <p>b 教員や学生への公開状況，方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD報告書を年度末に作成している。</li> </ul>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
平成28年度に開設し、現在まで順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期  
・平成31年8月公表予定
- b 公表方法  
・山口大学自己点検評価書を作成し、大学ホームページにて公表予定
- ③ 認証評価を受ける計画  
・平成27年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受審、次回受審年度は平成33年度を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 9 月 1 日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

## (2) 大学名

山口大学

## (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677番1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			該当なし
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月)	(ツツミ ヒロモリ) 堤 宏守 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成30年4月1日 (30)
専攻長	(タダトモ カズユキ) 只友 一行 (平成28年4月)	<del>(ナカヤマ マサハル)</del> (ヤマモト セツオ) 中山 雅晴 山本 節夫 <del>(平成29年4月)</del> (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日 <del>(29)</del> 変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 物質工学系専攻 (博士後期課程)  博士(工学) 博士(学術)	工学関係	3年	8人	24人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8人 若干名		8人 若干名		8人 人				0.41倍	
志願者数	1 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ 1 ]	2 ( 2 ) [ - ]	3 ( - ) [ 2 ]					
受験者数	1 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ 1 ]	2 ( 2 ) [ - ]	3 ( - ) [ 2 ]					
合格者数	1 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ 1 ]	2 ( 2 ) [ - ]	3 ( - ) [ 2 ]					
B 入学者数	1 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ 1 ]	2 ( 2 ) [ - ]	3 ( - ) [ 2 ]					
入学定員超過率 B/A	0.12		0.75		0.37					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。



(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	4 [ 1 ] ( - )	2 [ - ] ( - )	3 [ 2 ] ( - )	2 [ - ] ( - )	・平成28年度入学の1名は平成30年3月早期修了。
2年次	/		1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	4 [ 1 ] ( - )	0 [ - ] ( - )	
3年次			/				
計	1 [ - ] ( - )				7 [ 1 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	1人	0人	平成28年度	人	人	
平成29年度	7人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	9人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	17人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成28年度】**

- ・教育効果充実のため、「研究者行動規範特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「知的財産特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更
- ・教育効果充実のため、「サイエンティフィック・ライティング」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更
- ・教育効果充実のため、「プレゼンテーション特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更
- ・教育効果充実のため、「リサーチメソッドロジー特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「技術ロードマッピング特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「製品開発特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼14」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「物質工学特別講義」の専任教員等の配置を「教授8・准教授7」から「教授3・准教授2」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「物質工学ゼミナールⅠ」「物質工学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授17・准教授17・講師1・助教6」から「教授17・准教授14・講師1・助教7」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「超伝導デバイス工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「メタマテリアル特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「イオン性プラズマ物性特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・教育効果充実のため、「プラズマ材料工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・教員の退職及び昇任により、「触媒反応特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更
- ・教育効果充実のため、「合成経路設計特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「物質構造化学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更

**【平成29年度】**

- ・教育効果充実のため、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「兼14」から「教授2・兼10」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「物質工学特別講義」の専任教員等の配置を「教授3・准教授2」から「教授4・准教授3・講師1」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「物質工学ゼミナールⅠ」「物質工学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授17・准教授14・講師1・助教7」から「教授16・准教授12・講師2・助教8」に変更
- ・担当教員の退職により、「固体物性シミュレーション特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「メタマテリアル特論」「電子機能材料工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・教育効果充実のため、「精密重合特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・助教1」に変更

**【平成30年度】**

- ・具体的な担当教員の確定により、「物質工学特別講義」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3・講師1」から「教授3・准教授4・講師1」に変更
- ・教員の退職及び昇任等により、「物質工学ゼミナールⅠ」「物質工学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授16・准教授12・講師2・助教8」から「教授14・准教授13・講師3・助教6」に変更
- ・担当教員の昇任により、「発光デバイス工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1・准教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「結晶合成工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・助教1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「精密重合特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1・講師1」に変更
- ・担当教員の退職により、「電子化学反応特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	47 科目		50 科目	3 科目	47 科目		50 科目	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{50} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	区分の見直しによる変更(30)			
	校舎敷地	413,643 360,369 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	413,643 360,369 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	127,053 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	127,053 m <sup>2</sup>				
	小 計	540,696 487,422 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	540,696 487,422 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	64,370 117,644 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	64,370 117,644 m <sup>2</sup>				
	合 計	605,066 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	605,066 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		391,082 m <sup>2</sup> ( 391,082 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	391,082 m <sup>2</sup> ( 391,082 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		103 室	702 室	787 室	5 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科物質工学系専攻			39 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分を含む  教育研究の充実及び購入計画の見直し等による変更(30)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
		冊	種	[うち外国書]					
		点	点	点					
創成科学研究科 物質工学系専攻	1,614,196 [468,286] 1,623,875 [470,701] (4,614,196 [468,286]) (1,623,875 [470,701])	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885] (41,438 [16,319]) (30,991 [ 9,885])	10,217 [6,056] 7,415 [6,152] (10,217 [6,056]) (7,415 [6,152])	3,773 3,336 (3,773) ( 3,336)	16 153 ( 16) ( 153)	( 0)			
計	1,614,196 [468,286] 1,623,875 [470,701] (4,614,196 [468,286]) (1,623,875 [470,701])	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885] (41,438 [16,319]) (30,991 [ 9,885])	10,217 [6,056] 7,415 [6,152] (10,217 [6,056]) (7,415 [6,152])	3,773 3,336 (3,773) ( 3,336)	16 153 ( 16) ( 153)	( 0)			
(6) 図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		13,063 m <sup>2</sup>		1,590 席	1,501,056 冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		6,956 m <sup>2</sup>		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
【学部】									
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (人文学部：人文社会学科, 言語文化学科)
人文学科	4	185	-	555	学士 (文学)	1.06	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (教育学部：実践臨床教育課程, 情報科学教育課程, 健康科学教育課程, 総合文化教育課程)
学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士 (教育学)	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成元年度		
経済学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (経済学部：国際経済学科, 経済法学科, 商業教員養成課程)
経済学科	4	130	-	520	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	660	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和52年度		
経済法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	昭和55年度		
観光政策学科	4	50	-	200	学士 (経済学)	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和29年度		
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.08	平成18年度		
医学部			2年次					山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成30年度より3年次編入学生募集停止 (医学部保健学科)
医学科	6	107	10	692	学士 (医学)	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	-	495	学士 (看護学, 保健学)	1.01	平成12年度		



工学部			3年次					山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	5	370	学士 (工学)	1.07	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.02	平成19年度		
			3年次						
電気電子工学科	4	80	5	330	学士 (工学)	1.03	平成2年度		
			3年次						
知能情報工学科	4	80	10	340	学士 (工学)	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.06	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.07	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	※平成24年度より 学生募集停止（農 学部獣医学科）
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.02	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度		
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.04	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	400	学士 (学術)	1.04	平成27年度		
【大学院】									
人文科学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.62	平成28年度		
教育学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.35	平成3年度		
教科教育専攻	2	17	-	34	修士 (教育学)	1.05	平成3年度		
(専門職学位課程)									
教職実践高度化専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度		
経済学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士 (経済学)	0.81	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.70	平成7年度		

<b>医学系研究科</b>							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止 (医学系研究科： (一貫制博士課程) システム統御医学系専攻、情報解析医学系専攻、(博士前期課程)応用医工学専攻、(博士後期課程)応用医工学系専攻、応用分子生命科学系専攻)	
(一貫制博士課程)									
医学専攻	4	33	-	99	博士 (医学)	0.93			平成28年度
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
(博士前期課程)									
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士 (医工学)	-			平成13年度
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (保健学)	1.08			平成17年度
(博士後期課程)									
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士 (医工学)	-			平成13年度
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学、学術)	-			平成18年度
保健学専攻	3	5	-	15	博士 (保健学)	0.86			平成19年度
<b>創成科学研究科</b>									山口県山口市吉田1677番地1
(博士前期課程)									
基盤科学系専攻	2	38	-	76	修士 (理学)	0.98	平成28年度		
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	84	修士 (理学)	1.05	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	0.95	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	148	修士 (工学)	0.81	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	166	修士 (工学、学術)	0.95	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	214	修士 (工学)	0.96	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	84	修士 (農学、生命科学)	0.66	平成28年度		
(鳥取大学大学院 連合農学研究科に参加)									
(博士後期課程)									
自然科学系専攻	3	7	-	21	博士 (理学、学術)	0.61	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	30	博士 (工学、学術)	0.76	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	36	博士 (工学、学術)	1.05	平成28年度		
物質工学系専攻	3	8	-	24	博士 (工学、学術)	0.41	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	21	博士 (医工学、生命科学、学術)	1.09	平成28年度		
<b>理工学研究科</b>							山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (理工学研究科： (博士後期課程)自然科学基盤系専攻、物質工学系専攻、システム設計工学系専攻、情報・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻)	
(博士後期課程)									
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-			平成18年度
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-			平成18年度
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度		

情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士 (理学, 工学, 学術)	-	平成18年度		
東アジア研究科 (博士後期課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士 (学術)	1.13	平成13年度		
技術経営研究科 (専門職学位課程)								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営 修士 (専門職)	1.36	平成17年度		
連合獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	4	-	40	博士 (獣医学)	1.62	平成2年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鳥取大学 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	平成30年度入学定員減(△8人) (連合獣医学研究科：獣医学専攻)
共同獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	6	-	6	博士 (獣医学)	1.16	平成30年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	只友 一行 <平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 発光デバイス工学特 論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義	専	教授	只友 一行 <平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 発光デバイス工学特 論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 学外特別研修II 長期インターンシッ プII	専	教授	只友 一行 <平成28年4月> 発光デバイス工学特 論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II プラズマシミュレ ーション学特論	専	教授	只友 一行 <平成28年4月> 発光デバイス工学特 論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II プラズマシミュレ ーション学特論 グリーンイノー ベーション特論
専	教授	山田 陽一 <平成28年4月> 励起子工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義	専	教授	山田 陽一 <平成28年4月> 励起子工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	教授	山田 陽一 <平成28年4月> 励起子工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	教授	山田 陽一 <平成28年4月> 励起子工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II キャリアデザインII
専	教授	小柳 剛 <平成28年4月> エネルギー変換材料 工学特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	教授	小柳 剛 <平成28年4月> エネルギー変換材料 工学特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	教授	小柳 剛 <平成28年4月> エネルギー変換材料 工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	教授	小柳 剛 <平成28年4月> エネルギー変換材料 工学特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	教授	諸橋 信一 <平成28年4月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 超伝導デバイス工学 特論 物質工学特別講義									
						専	助教	吉田 雅史 <平成28年10月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	助教	吉田 雅史 <平成28年10月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	教授	山本 節夫 <平成28年4月> セラミックスデバイ ス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	教授	山本 節夫 <平成28年4月> セラミックスデバイ ス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II	専	教授	山本 節夫 <平成28年4月> セラミックスデバイ ス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II キャリアデザインII	専	教授	山本 節夫 <平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 物質工学特別講義 セラミックスデバイ ス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 学外特別研修II 長期インターンシッ プII

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	横川 俊哉 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ グリーン・イノベーション特論 物質工学特別講義
		甲斐 綾子 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 磁気共鳴特論
専	准教授	浅田 裕法 ＜平成28年4月＞ 電子機能材料工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		大原 渡 ＜平成28年4月＞ イオン性プラズマ物性特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	栗巢 普揮 ＜平成28年4月＞ 物性工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		崎山 智司 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ プラズマ材料工学特論
専	准教授	原田 直幸 ＜平成28年4月＞ 超伝導物性特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		村田 卓也 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	横川 俊哉 ＜平成28年4月＞ 物質工学特別講義 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ グリーン・イノベーション特論
		甲斐 綾子 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 磁気共鳴特論
専	准教授	浅田 裕法 ＜平成28年4月＞ 電子機能材料工学特論 メタマテリアル特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		大原 渡 ＜平成28年4月＞ イオン性プラズマ物性特論 プラズマ材料工学特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	栗巢 普揮 ＜平成28年4月＞ 物性工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		崎山 智司 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	原田 直幸 ＜平成28年4月＞ 超伝導物性特論 超伝導デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		村田 卓也 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	横川 俊哉 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ グリーン・イノベーション特論
		甲斐 綾子 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 磁気共鳴特論
専	教授	浅田 裕法 ＜平成29年4月＞ 電子機能材料工学特論 メタマテリアル特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		大原 渡 ＜平成28年4月＞ イオン性プラズマ物性特論 プラズマ材料工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	栗巢 普揮 ＜平成28年4月＞ 物性工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		崎山 智司
専	准教授	原田 直幸 ＜平成28年4月＞ 超伝導物性特論 超伝導デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		村田 卓也 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	甲斐 綾子 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 磁気共鳴特論
		浅田 裕法 ＜平成29年4月＞ 電子機能材料工学特論 メタマテリアル特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
専	教授	大原 渡 ＜平成28年4月＞ イオン性プラズマ物性特論 プラズマ材料工学特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		栗巢 普揮 ＜平成28年4月＞ 物性工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
専	准教授	原田 直幸 ＜平成28年4月＞ 超伝導物性特論 超伝導デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		村田 卓也 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	助教	岸本 堅剛 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		倉井 聡 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	助教	岡田 成仁 ＜平成28年4月＞ 発光デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		内藤 裕志 ＜平成28年4月＞ プラズマシミュレーション学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	嶋村 修二 ＜平成28年4月＞ 固体物性シミュレーション特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		萩原 千聡 ＜平成28年4月＞ 量子物性学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	仙田 康浩 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 計算科学特論
		赤井 光治 ＜平成28年4月＞ 電子構造物性特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	笠谷 和男 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	助教	岸本 堅剛 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		倉井 聡 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	助教	岡田 成仁 ＜平成28年4月＞ 発光デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		内藤 裕志 ＜平成28年4月＞ プラズマシミュレーション学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	嶋村 修二 ＜平成28年4月＞ 固体物性シミュレーション特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		萩原 千聡 ＜平成28年4月＞ 量子物性学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	仙田 康浩 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 計算科学特論
		赤井 光治 ＜平成28年4月＞ 電子構造物性特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	笠谷 和男 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	助教	岸本 堅剛 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		倉井 聡 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	助教	岡田 成仁 ＜平成28年4月＞ 発光デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	
専	准教授	萩原 千聡 ＜平成28年4月＞ 量子物性学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		仙田 康浩 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 計算科学特論
専	准教授	赤井 光治 ＜平成28年4月＞ 電子構造物性特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	笠谷 和男 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	助教	岸本 堅剛 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		倉井 聡 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	助教	岡田 成仁 ＜平成30年4月＞ 発光デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	
専	准教授	萩原 千聡 ＜平成28年4月＞ 量子物性学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		仙田 康浩 ＜平成28年4月＞ 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 計算科学特論 <b>物質工学特別講義</b>
専	准教授	赤井 光治 ＜平成28年4月＞ 電子構造物性特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ <b>物質工学特別講義</b>
専	教授	笠谷 和男 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	小松 隆一 ＜平成28年4月＞ 結晶合成工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		中山 雅晴 ＜平成28年4月＞ 物質反応化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義
専	教授	森田 昌行 ＜平成28年4月＞ 電子化学反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		鬼村 謙二郎 ＜平成28年4月＞ 精密重合特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	准教授	岡本 浩明 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		酒多 喜久 ＜平成28年4月＞ 触媒反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義
専	准教授	中塚 晃彦 ＜平成28年4月＞ 結晶物性工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義
		藤森 宏高 ＜平成28年4月＞ セラミックス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	小松 隆一 ＜平成28年4月＞ 結晶合成工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		中山 雅晴 ＜平成28年4月＞ 物質反応化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	教授	森田 昌行 ＜平成28年4月＞ 電子化学反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		鬼村 謙二郎 ＜平成28年4月＞ 精密重合特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	准教授	岡本 浩明 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		酒多 喜久 ＜平成28年4月＞ 触媒反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	准教授	中塚 晃彦 ＜平成28年4月＞ 結晶物性工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		藤森 宏高 ＜平成28年4月＞ セラミックス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	小松 隆一 ＜平成28年4月＞ 結晶合成工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		中山 雅晴 ＜平成28年4月＞ 物質反応化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義 最先端自然科学研究 科目 学外特別研修II 長期インターンシッ プII
専	教授	森田 昌行 ＜平成28年4月＞ 電子化学反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II キャリアデザインII
		鬼村 謙二郎 ＜平成28年4月＞ 精密重合特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	准教授	岡本 浩明 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		酒多 喜久 ＜平成28年4月＞ 触媒反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義
専	准教授	中塚 晃彦 ＜平成28年4月＞ 結晶物性工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義
		藤森 宏高 ＜平成28年4月＞ セラミックス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	小松 隆一 ＜平成28年4月＞ 結晶合成工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		中山 雅晴 ＜平成28年4月＞ 物質反応化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	教授	森田 昌行 ＜平成28年4月＞ 電子化学反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		鬼村 謙二郎 ＜平成28年4月＞ 精密重合特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	准教授	岡本 浩明 ＜平成28年4月＞ 有機電子・光材料化学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		酒多 喜久 ＜平成28年4月＞ 触媒反応特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	准教授	中塚 晃彦 ＜平成28年4月＞ 結晶物性工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
		藤森 宏高 ＜平成28年4月＞ セラミックス工学特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	吉本 信子 <平成28年4月> 物質構造化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		藤井 健太 <平成28年4月> 電解質溶液化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
専	助教	山吹 一大 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	比嘉 充 <平成28年4月> 機能性ソフトマテリアル工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		堀 憲次 <平成28年4月> 合成経路設計特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	隅本 倫徳 <平成28年4月> 合成経路設計特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	山本 豪紀 <平成28年4月> 有機合成化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		遠藤 宣隆 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	吉本 信子 <平成28年4月> 物質構造化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		藤井 健太 <平成28年4月> 電解質溶液化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	助教	山吹 一大 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	教授	比嘉 充 <平成28年4月> 機能性ソフトマテリアル工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		堀 憲次 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	隅本 倫徳 <平成28年4月> 合成経路設計特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	山本 豪紀 <平成28年4月> 有機合成化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		遠藤 宣隆 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	助教	麻川 明俊 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	吉本 信子 <平成28年4月> 物質構造化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		藤井 健太 <平成28年4月> 電解質溶液化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
専	助教	山吹 一大 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 精密重合特論
専	教授	比嘉 充 <平成28年4月> 機能性ソフトマテリアル工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		堀 憲次 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	隅本 倫徳 <平成28年4月> 合成経路設計特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	山本 豪紀 <平成28年4月> 有機合成化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
		遠藤 宣隆 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義
専	助教	麻川 明俊 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	吉本 信子 <平成28年4月> 物質構造化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		藤井 健太 <平成28年4月> 電解質溶液化学特論 電子化学反応特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	講師	山吹 一大 <平成30年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 精密重合特論
専	教授	比嘉 充 <平成28年4月> 機能性ソフトマテリアル工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		堀 憲次 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ キャリアデザインⅡ
専	准教授	隅本 倫徳 <平成28年4月> 合成経路設計特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	准教授	山本 豪紀 <平成28年4月> 有機合成化学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
		遠藤 宣隆 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ
専	助教	麻川 明俊 <平成28年4月> 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 結晶合成工学特論



専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	真田 篤志 <平成28年4月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II メタマテリアル特論
専	教授	今村 速夫 <平成28年4月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 触媒反応特論
専	助教	中邑 義則 <平成28年4月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔璟 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	安川 政宏 <平成28年4月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔璟 <平成28年4月> 知的財産特論 キャリアデザインII
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	安川 政宏 <平成28年4月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	講師	鳴海 孝之 <平成29年4月> 固体物性シミュレ ーション特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔璟 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	安川 政宏 <平成28年4月> 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II
専	講師	鳴海 孝之 <平成29年4月> 固体物性シミュレ ーション特論 物質工学ゼミナール I 物質工学ゼミナール II 物質工学特別講義
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔璟 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	小川 仁志 ＜平成28年4月＞ プレゼンテーション 特論
		大島 直樹 ＜平成28年4月＞ リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也 ＜平成28年4月＞ 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論
兼任	准教授	植村 隆 ＜平成28年4月＞ 科学・技術英語特論 S
		柳原 宏 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
		池田 敏春 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
		岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
		兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼任	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	小川 仁志 ＜平成28年4月＞ プレゼンテーション 特論
		大島 直樹 ＜平成28年4月＞ リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也 ＜平成28年4月＞ 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論
兼任	准教授	植村 隆 ＜平成28年4月＞ 科学・技術英語特論 S
		柳原 宏 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
		池田 敏春 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
		岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
		兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼任	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	小川 仁志 ＜平成28年4月＞ プレゼンテーション 特論
		大島 直樹 ＜平成28年4月＞ リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也 ＜平成28年4月＞ 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論
兼任	准教授	植村 隆 ＜平成28年4月＞ 科学・技術英語特論 S
		柳原 宏 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
		池田 敏春 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
		岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
		兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼任	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	小川 仁志 ＜平成28年4月＞ プレゼンテーション 特論
		大島 直樹 ＜平成28年4月＞ イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也 ＜平成28年4月＞ 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論
		<b>福代 和宏</b> <b>＜平成30年4月＞</b> <b>リサーチメソドロ</b> <b>ジー特論</b>
兼任	准教授	植村 隆 ＜平成28年4月＞ 科学・技術英語特論 S
		柳原 宏 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬 ＜平成28年4月＞ 応用解析学特論
		池田 敏春 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘 ＜平成28年4月＞ 数理工学特論
		岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理学特論
		兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼任	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤井 一宏 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ
兼任	講師	坪郷 浩一 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ
兼任	講師	堀江 穆 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤井 一宏 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ
兼任	講師	坪郷 浩一 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ
兼任	講師	岡林 千夫 <平成30年4月> キャリアデザインⅡ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【平成28年度】**

- ・平成28年1月酒多准教授が教授へ昇任。
- ・平成28年4月麻川助教、安川助教就任。
- ・平成28年4月吉本准教授、大原准教授が教授へ昇任。
- ・平成28年4月只友教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月浅田准教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月大原准教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月原田准教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月兼任教員として進士教授、松野教授、小林教授、田口URAが就任。
- ・平成28年4月兼任教員である李准教授の担当科目を変更。
- ・平成28年4月兼任教員として山口講師、三須講師、野村講師、松村講師、浅田講師、町田講師が就任。

**【平成29年度】**

- ・平成28年9月崎山准教授が配置換により辞任。
- ・平成28年10月吉田雅史助教採用
- ・平成29年3月内藤教授、嶋村教授が定年退職。
- ・平成29年4月鳴海講師就任。
- ・平成29年4月浅田准教授が教授へ昇任。
- ・平成29年4月只友教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月山本教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月笠谷教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月中山教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月森田教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月酒多教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月中塚准教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月藤井准教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月山吹助教の担当科目を変更。
- ・平成29年4月比嘉教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月山本准教授の担当科目を変更。
- ・平成29年4月遠藤講師の担当科目を変更。
- ・平成29年4月兼任教員として西井教授、安達准教授が就任。
- ・平成29年4月兼任教員として藤井講師、坪郷講師、堀江講師が就任。

【平成30年度】

- ・平成30年3月横川教授辞任。
- ・平成30年3月森田教授が定年退職。
- ・平成30年4月岡田助教が准教授へ昇任。
- ・平成30年4月山吹助教が講師へ昇任。
- ・平成30年4月只友教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月山田教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月小柳教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月山本教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月浅田教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月大原教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月栗巢准教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月原田准教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月仙田准教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月赤井准教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月藤井准教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月堀教授の担当科目を変更。
- ・平成30年4月麻川助教の担当科目を変更。
- ・平成30年4月鳴海講師の担当科目を変更。
- ・平成30年4月兼任教員として福代教授、山中教授が就任。
- ・平成30年4月兼任教員として岡林講師が就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
17	17	1	6	41	14	13	3	6	36	14	13	3	6	36
(17)	(14)	(1)	(7)	(39)						[△3]	[△4]	[2]	[0]	[△5]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
34	7	0			30	6	0			30	6	0		
(32)	(7)	(0)								[△4]	[△1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、  
 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{36}{41} = \boxed{87.8} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	諸橋 信一	選択	物質工学ゼミナールⅠ	①	H28.3.31 特命教員として就任予定であったが、本人の都合により就任辞退(30)				
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
			選択	物質工学特別講義	①					
			選択	超伝導デバイス工学特論	①					
2	教授	真田 篤志	選択	物質工学ゼミナールⅠ	①	H28.3.31 本人の都合により就任辞退(30)				
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
			選択	メタマテリアル特論	①					
3	教授	今村 速夫	選択	物質工学ゼミナールⅠ	①	H28.3.31 特命教員として就任予定であったが、本人の都合により就任辞退(30)				
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
			選択	触媒反応特論	①					
4	助教	中邑 義則	選択	物質工学ゼミナールⅠ	①	H28.3.31 本人の都合により就任辞退(30)				
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	崎山 智司	選択	物質工学ゼミナールⅠ	①	H28.9.1付け配置換により辞任(29)				
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
2	教授	横川 俊哉	選択	物質工学ゼミナールⅠ	①	H30.3.31付け任期満了のため辞任(30)				
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
			選択	グリーン・イノベーション特論	①					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
6	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	9	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目



(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)\text{合計(D)+(F)}}{(2)-(2)\text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{41} = \boxed{14.63} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	内藤 裕志	選択	プラズマシミュレーション	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)				
			選択	物質工学ゼミナールⅠ	①					
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
2	教授	嶋村 修二	選択	固体物性シミュレーション特論	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)				
			選択	物質工学ゼミナールⅠ	①					
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
3	教授	森田 昌行	選択	電子化学反応特論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	物質工学ゼミナールⅠ	①					
			選択	物質工学ゼミナールⅡ	①					
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 担当科目は他に担当教員がいるため支障はない。</p> <p>【学生への周知方法】 研究科要覧により周知している。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年度 6月27日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己点検・評価に関する事項</li> <li>・教員の教育・研究及び評価に関する事項</li> <li>・教員の能力開発に関する事項 等</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開</li> <li>・全学FD・SD講演会</li> <li>・教育改善FD研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開 期間を定めて公開授業を実施し，教員に授業を参観させた。</li> <li>・全学FD・SD講演会 本学の大学教育センター教員の他，学内外の講師で開催されたアクティブラーニングにおける諸問題とその解決策に関する講演会を遠隔講義システムで受信し聴講を行った。</li> <li>・教育改善FD研修会 本学の大学教育センター教員を講師として，カリキュラムマップ及びカリキュラムフローチャートの見直しに関する研修を行った。</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開 参観者数：5名</li> <li>・全学FD・SD講演会 参加者数：3名</li> <li>・教育改善FD研修会 参加者数：29名</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ，授業担当教員にフィードバックすることで，教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り，教育の質的向上に努めている。</p> <p>また，学生の多様性に対応する教員の能力向上のため，講演会，研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
 実施：有  
 実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況、方法等  
 教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
 平成28年度に開設し、現在まで順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期  
 ・平成31年8月公表予定

b 公表方法  
 ・山口大学自己点検評価書を作成し、大学ホームページにて公表予定

③ 認証評価を受ける計画  
 ・平成27年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受審、次回受審年度は平成33年度を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 9 月 1 日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
 ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

## (2) 大学名

山口大学

## (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677番地 1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月)	(ツツミ ヒロモリ) 堤 宏守 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成30年4月1日 (30)
専攻長	(クボ ヒロシ) 久保 洋 (平成28年4月)	<del>(ゴウダ コウイチ)</del> 合田 公一 <del>(平成29年4月1日)</del> (マツフジ シンヤ) 松藤 信哉 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日 <del>(29)</del> 変更年月日：平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻 (博士後期課程)  博士(工学) 博士(学術)	工学関係	3 年	10 人	30 人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10 若干名		10 若干名		10 若干名				0.76倍	
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
志願者数	8	3	5	5	4					
	( 4 )	( 1 )	( 1 )	( 2 )	( 2 )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	7	3	5	5	4					
	( 4 )	( 1 )	( 1 )	( 2 )	( 2 )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	7	3	5	5	4					
	( 4 )	( 1 )	( 1 )	( 2 )	( 2 )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	7	3	5	4	4					
	( 4 )	( 1 )	( 1 )	( 2 )	( 2 )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	1.00		0.90		0.40					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	7 [ - ] ( - )	[ ] ( - )	5 [ 1 ] ( - )	3 [ 2 ] ( - )	4 [ 1 ]	4 [ 1 ]	・平成28年度春季入学者7名のうち、2名が平成30年3月に早期修了。 ・平成28年度秋入学者3名のうち、1名(留学生)が29年3月に除籍。 ・平成29年度春季入学者5名のうち、1名が平成30年3月に除籍。
2年次	/		7 [ - ] ( - )	[ ] ( - )	4 [ 1 ] ( - )	2 [ 1 ] ( - )	
3年次	/				5 [ - ] ( - )	[ - ] ( - )	
計	7 [ - ] ( - )		15 [ 3 ] ( - )		21 [ 4 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	7人	1人	平成28年度	1人	1人	除籍(1人)
平成29年度	15人	2人	平成28年度	0人	0人	除籍(2人)
			平成29年度	2人	2人	
平成30年度	21人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	43人	3人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{15} = \boxed{13.33} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1			1						1
	知的財産特論	1後	1			1						2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						2
	リサーチメソッドロジー特論	1・2前		2		1						1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						1
	製品開発特論	1・2後		2		1						1
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1						2
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1							
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1							
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	科学・技術英語特論S	1後		2								1
	応用解析学特論	1・2前・後		2								2
	数理工学特論	1・2前・後		2								2
	応用数理科学特論	1・2前・後		2								2
	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	1・2前		2		15	25	2	8			
システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	1・2後		2		15	25	2	8				
システム・デザイン工学特別講義	1前		2		6	8						
専門科目	動的システム信号処理論	1・2前		2			1					
	電子制御特論	1・2前		2		1						
	システム最適化特論	1・2前		2			1					
	電磁システム工学特論	1・2前		2		1						
	電磁波動工学特論	1・2後		2			1					
	導波型デバイス特論	1・2後		2		1						
	電力品質論	1・2後		2		1		1				
	分布システム制御特論	1・2後		2		1						
	複雑混沌系工学特論	1・2前		2		1				1		
	情報通信符号論	1・2前		2		1	1			1		
	オートマトン特論	1・2前		2			1					
	メディア情報工学特論	1・2前		2			1					
	ソフトウェア高度信頼化特論	1・2前		2			1					
	並列アルゴリズム特論	1・2前		2			1					
	ネット理論特論	1・2後		2			1					
	ビジュアルコンピューティング特論	1・2後		2		1						
	応用画像処理特論	1・2後		2			1					
	映像デザイン特論	1・2後		2			2					
	統計的パターン認識	1・2後		2		1						
	応用情報工学特論	1・2後		2			1					
マイクロ知能システム工学特論	1・2前		2		1				1			
材料信頼性工学特論	1・2前		2		1							
微小生体機械学特論	1・2後		2		1							
機械システム制御特論	1・2後		2			1						
大規模機械システム開発特論	1・2後		2			1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1									1
	知的財産特論	1後	1									2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1								2
	プレゼンテーション特論	1後		1								2
	リサーチメソッドロジー特論	1・2前		2								1
	イノベーション特論	1・2前		2								1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2								1
	製品開発特論	1・2後		2								1
	キャリアデザインⅡ	1前		2								12
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4				1					
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6				1					
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2				1					
	科学・技術英語特論S	1後		2								1
	応用解析学特論	1・2前・後		2								2
	数理工学特論	1・2前・後		2								2
	応用数理科学特論	1・2前・後		2								2
	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	1・2前		2				14	25	2	5	
システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	1・2後		2				14	25	2	5		
システム・デザイン工学特別講義	1前		2				1	9				
専門科目	動的システム信号処理論	1・2前		2				1				
	電子制御特論	1・2前		2						1		
	システム最適化特論	1・2前		2				1				
	電磁システム工学特論	1・2前		2					1			
	電磁波動工学特論	1・2後		2					1			
	導波型デバイス特論	1・2後		2			1				1	
	電力品質論	1・2後		2			1			1		
	分布システム制御特論	1・2後		2			1					
	複雑混沌系工学特論	1・2前		2					1		1	
	情報通信符号論	1・2前		2			1	1			1	
	オートマトン特論	1・2前		2						1		
	メディア情報工学特論	1・2前		2						2		
	ソフトウェア高度信頼化特論	1・2前		2				1				
	並列アルゴリズム特論	1・2前		2						2		
	ネット理論特論	1・2後		2				1				
	ビジュアルコンピューティング特論	1・2後		2				2	1			
	応用画像処理特論	1・2後		2					2			
	映像デザイン特論	1・2後		2					1			
	統計的パターン認識	1・2後		2			1		1			
	応用情報工学特論	1・2後		2					2			
マイクロ知能システム工学特論	1・2前		2			1		1				
材料信頼性工学特論	1・2前		2			1						
微小生体機械学特論	1・2後		2								2	
機械システム制御特論	1・2後		2				1	2				
大規模機械システム開発特論	1・2後		2					1				

【平成28年度】

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1								1
	知的財産特論	1後	1								2
	サイエンスライティング	1前		1							2
	プレゼンテーション特論	1後		1							2
	リサーチメソッド特論	1-2前		2							1
	イノベーション特論	1-2前		2							1
	技術ロードマップ特論	1-2後		2							1
	製品開発特論	1-2後		2							1
	キャリアデザインⅡ	1前		2							14
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前	1~4			1					
長期インターンシップⅡ	1-2-3前	6			1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1					
	科学・技術英語特論S	1後		2							1
	応用解析学特論	1-2前		2							2
	数理工学特論	1-2前		2							2
	応用数理科学特論	1-2前		2							2
	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	1-2前		2		15	26	2	8		
	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	1-2後		2		15	26	2	8		
システム・デザイン工学特別講義	1前		2		1	9					
専門科目	動的システム信号処理論	1-2前		2			1				
	電子制御特論	1-2前		2		1		1			
	システム最適化特論	1-2前		2			1				
	電磁システム工学特論	1-2前		2		1					
	電磁波動工学特論	1-2後		2			1				
	導波型デバイス特論	1-2後		2		1					
	電力品質論	1-2後		2		1		1			
	分布システム制御特論	1-2後		2		1					
	複雑混沌系工学特論	1-2前		2		1				3	
	情報通信符号論	1-2前		2		1	1			1	
	オートマトン特論	1-2前		2			1				
	メディア情報工学特論	1-2前		2			2				
	ソフトウェア高度信頼化特論	1-2前		2			1				
	並列アルゴリズム特論	1-2前		2			1				1
	ネット理論特論	1-2後		2			1				
	ビジュアルコンピューティング特論	1-2後		2		2	1				
	応用画像処理特論	1-2後		2			2				
	映像デザイン特論	1-2後		2			2				
	統計的パターン認識	1-2後		2		1	1				
	応用情報工学特論	1-2後		2			2				
マイクロ知能システム工学特論	1-2前		2		1		1				
材料信頼性工学特論	1-2前		2		1						
微小生体機械学特論	1-2後		2							1	
機械システム制御特論	1-2後		2		1	2					
大規模機械システム開発特論	1-2後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1								1
	知的財産特論	1後	1								2
	サイエンスライティング	1前		1							2
	プレゼンテーション特論	1後		1							2
	リサーチメソッド特論	1-2前		2							1
	イノベーション特論	1-2前		2							1
	技術ロードマップ特論	1-2後		2							1
	製品開発特論	1-2後		2							1
	キャリアデザインⅡ	1前		2				1			10
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前	1~4			1					
長期インターンシップⅡ	1-2-3前	6			1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1					
	科学・技術英語特論S	1後		2							1
	応用解析学特論	1-2前		2							2
	数理工学特論	1-2前		2							2
	応用数理科学特論	1-2前		2							2
	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	1-2前		2			13	25	2	7	
	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	1-2後		2			13	25	2	7	
システム・デザイン工学特別講義	1前		2		1	9					
専門科目	動的システム信号処理論	1-2前		2				1			
	電子制御特論	1-2前		2					1		
	システム最適化特論	1-2前		2				1			
	電磁システム工学特論	1-2前		2					1		
	電磁波動工学特論	1-2後		2					1		
	導波型デバイス特論	1-2後		2				1			1
	電力品質論	1-2後		2		1			1		
	分布システム制御特論	1-2後		2		1					
	複雑混沌系工学特論	1-2前		2					1		2
	情報通信符号論	1-2前		2		1	1			1	
	オートマトン特論	1-2前		2			1				
	メディア情報工学特論	1-2前		2			2				
	ソフトウェア高度信頼化特論	1-2前		2			1				
	並列アルゴリズム特論	1-2前		2			1				1
	ネット理論特論	1-2後		2			1				
	ビジュアルコンピューティング特論	1-2後		2		2	1				
	応用画像処理特論	1-2後		2			2				
	映像デザイン特論	1-2後		2			2				
	統計的パターン認識	1-2後		2		1	1				
	応用情報工学特論	1-2後		2			2				
マイクロ知能システム工学特論	1-2前		2		1		1				
材料信頼性工学特論	1-2前		2		1						
微小生体機械学特論	1-2後		2							2	
機械システム制御特論	1-2後		2		1	2					
大規模機械システム開発特論	1-2後		2			1					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・教育効果充実のため、「研究者行動規範特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「知的財産特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「サイエンティフィック・ライティング」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「プレゼンテーション特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「リサーチメソッドロジー特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「技術ロードマッピング特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「製品開発特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・具体的な担当教員の確定により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼14」に変更。
- ・教育効果充実のため、「システム・デザイン工学ゼミナールⅠ」「システム・デザイン工学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授15・准教授25・講師2・助教8」から「教授15・准教授26・講師2・助教8」に変更。
- ・具体的な担当教員の確定により、「システム・デザイン工学特別講義」の専任教員等の配置を「教授6・准教授8」から「教授1・准教授9」に変更。
- ・教育効果充実のため、「電子制御特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「複雑混沌系工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1・助教3」に変更。
- ・教育効果充実のため、「メディア情報工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「ビジュアルコンピューティング特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「応用画像処理特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教育効果充実のため、「統計的パターン認識」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「応用情報工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・具体的な担当教員の確定のため、「微小生体機械学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「機械システム制御特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授2」に変更。

【平成29年度】

- ・具体的な担当教員の確定により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「兼14」から「兼10」に変更。
- ・教員の退職及び昇任等により、「システム・デザイン工学ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授15・准教授26・講師2・助教8」から「教授13・准教授25・講師2・助教7」に変更。
- ・教員の退職及び昇任等により、「システム・デザイン工学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授15・准教授26・講師2・助教7」から「教授13・准教授25・講師2・助教7」に変更。
- ・担当教員の退職により、「電子制御特論」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「電磁システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「導波型デバイス特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・助教1」に変更。
- ・教員の退職及び昇任等により、「複雑混沌系工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教3」から「准教授1・助教2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「ソフトウェア高度信頼化特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「並列アルゴリズム特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1・助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「ネット理論特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「マイクロ知能システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「微小生体機械学特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。

【平成30年度】

- ・具体的な担当教員の確定により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼12」に変更。
- ・教育効果充実のため、「システム・デザイン工学ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授13・准教授25・講師2・助教7」から「教授14・准教授25・講師2・助教5」に変更。
- ・教育効果充実のため、「システム・デザイン工学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授13・准教授25・講師2・助教7」から「教授14・准教授25・講師2・助教5」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「システム最適化特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果充実のため、「複雑混沌系工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1・助教2」から「准教授1・助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「並列アルゴリズム特論」の専任教員等の配置を「准教授1・助教1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「映像デザイン特論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。

(注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	41 科目		44 科目	3 科目	41 科目		44 科目	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{44} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	区分の見直しによる変更(30)			
	校舎敷地	413,643 360,369 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	413,643 360,369 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	127,053 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	127,053 m <sup>2</sup>				
	小 計	540,696 487,422 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	540,696 487,422 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	64,370 117,644 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	64,370 117,644 m <sup>2</sup>				
	合 計	605,066 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	605,066 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	391,082 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	391,082 m <sup>2</sup>				
	( 391,082 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 391,082 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	103 室	702 室	787 室	5 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻			47 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分を含む  教育研究の充実及び購入計画の見直し等による変更(30)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	創成科学研究科 システム・デザイン専攻	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885]	10,217 [6,056] 7,415 [6,152]	3,773 3,336	16 153	0			
計	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885]	10,217 [6,056] 7,415 [6,152]	3,773 3,336	16 153	0				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	13,063m <sup>2</sup>		1,590 席		1,501,056 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	6,956 m <sup>2</sup>		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
【学部】									
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (人文学部：人文社会学科, 言語文化学科)
人文学科	4	185	-	555	学士 (文学)	1.06	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (教育学部：実践臨床教育課程, 情報科学教育課程, 健康科学教育課程, 総合文化教育課程)
学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士 (教育学)	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成元年度		
経済学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (経済学部：国際経済学科, 経済法学科, 商業教員養成課程)
経済学科	4	130	-	520	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	660	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和52年度		
経済法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	昭和55年度		
観光政策学科	4	50	-	200	学士 (経済学)	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和29年度		
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.08	平成18年度		
医学部			2年次					山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成30年度より3年次編入学生募集停止 (医学部保健学科)
医学科	6	107	10	692	学士 (医学)	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	-	495	学士 (看護学, 保健学)	1.01	平成12年度		

工学部			3年次					山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	5	370	学士 (工学)	1.07	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.02	平成19年度		
			3年次						
電気電子工学科	4	80	5	330	学士 (工学)	1.03	平成2年度		
			3年次						
知能情報工学科	4	80	10	340	学士 (工学)	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.06	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.07	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	※平成24年度より 学生募集停止（農 学部獣医学科）
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.02	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度		
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.04	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	400	学士 (学術)	1.04	平成27年度		
【大学院】									
人文科学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.62	平成28年度		
教育学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.35	平成3年度		
教科教育専攻	2	17	-	34	修士 (教育学)	1.05	平成3年度		
(専門職学位課程)									
教職実践高度化専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度		
経済学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士 (経済学)	0.81	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.70	平成7年度		

医学系研究科							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止 (医学系研究科： (一貫制博士課程) システム統御医学系専攻、情報解析医学系専攻、(博士前期課程)応用医工学専攻、(博士後期課程)応用医工学系専攻、応用分子生命科学系専攻)	
(一貫制博士課程)									
医学専攻	4	33	-	99	博士 (医学)	0.93			平成28年度
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
(博士前期課程)									
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士 (医工学)	-			平成13年度
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (保健学)	1.08			平成17年度
(博士後期課程)									
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士 (医工学)	-			平成13年度
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学、学術)	-			平成18年度
保健学専攻	3	5	-	15	博士 (保健学)	0.86			平成19年度
創成科学研究科									山口県山口市吉田1677番地1
(博士前期課程)									
基盤科学系専攻	2	38	-	76	修士 (理学)	0.98	平成28年度		
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	84	修士 (理学)	1.05	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	0.95	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	148	修士 (工学)	0.81	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	166	修士 (工学、学術)	0.95	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	214	修士 (工学)	0.96	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	84	修士 (農学、生命科学)	0.66	平成28年度		
(鳥取大学大学院 連合農学研究科に参加)									
(博士後期課程)									
自然科学系専攻	3	7	-	21	博士 (理学、学術)	0.61	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	30	博士 (工学、学術)	0.76	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	36	博士 (工学、学術)	1.05	平成28年度		
物質工学系専攻	3	8	-	24	博士 (工学、学術)	0.41	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	21	博士 (医工学、生命科学、学術)	1.09	平成28年度		
理工学研究科							山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (理工学研究科： (博士後期課程)自然科学基盤系専攻、物質工学系専攻、システム設計工学系専攻、情報・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻)	
(博士後期課程)									
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-			平成18年度
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-			平成18年度
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度		



情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士 (理学, 工学, 学術)	-	平成18年度		
東アジア研究科 (博士後期課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士 (学術)	1.13	平成13年度		
技術経営研究科 (専門職学位課程)								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営 修士 (専門職)	1.36	平成17年度		
連合獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	4	-	40	博士 (獣医学)	1.62	平成2年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鳥取大学 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	平成30年度入学定員減(△8人) (連合獣医学研究科：獣医学専攻)
共同獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	6	-	6	博士 (獣医学)	1.16	平成30年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻(博士後期課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	久保 洋
		<平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 導波型デバイス特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 学外特別研修Ⅱ 長期インターンシッ プⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	教授	田中 幹也
		<平成28年4月> 電子制御特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	田中 俊彦
		<平成28年4月> 電力品質論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	羽野 光夫
		<平成28年4月> 電磁システム工学特 論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	准教授	西藤 聖二
		<平成28年4月> 動的システム信号処 理論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	准教授	堀田 昌志
		<平成28年4月> 電磁波動工学特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ  システム・デザイン 工学特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	久保 洋
		<平成28年4月> 最先端自然科学研究 科目 導波型デバイス特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 学外特別研修Ⅱ 長期インターンシッ プⅡ
専	教授	田中 幹也
		<平成28年4月> 電子制御特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	田中 俊彦
		<平成28年4月> 電力品質論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	羽野 光夫
		<平成28年4月> 電磁システム工学特 論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	准教授	西藤 聖二
		<平成28年4月> 動的システム信号処 理論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	准教授	堀田 昌志
		<平成28年4月> 電磁波動工学特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ  システム・デザイン 工学特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	久保 洋
		<平成28年4月> 導波型デバイス特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	田中 俊彦
		<平成28年4月> 電力品質論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	准教授	西藤 聖二
		<平成28年4月> 動的システム信号処 理論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	准教授	堀田 昌志
		<平成28年4月> 電磁波動工学特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 電磁システム工学特 論 システム・デザイン 工学特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	久保 洋
		<平成28年4月> 導波型デバイス特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	田中 俊彦
		<平成28年4月> 電力品質論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	准教授	西藤 聖二
		<平成28年4月> 動的システム信号処 理論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	准教授	堀田 昌志
		<平成28年4月> 電磁波動工学特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 電磁システム工学特 論 システム・デザイン 工学特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	若佐 裕治 <平成28年4月> システム最適化特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	講師	中島 翔太 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	講師	山田 洋明 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 電力品質論
専	助教	山本 綱之 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	石川 昌明 <平成28年4月> 分布システム制御特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	教授	大林 正直 <平成28年4月> 複雑混沌系工学特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	若佐 裕治 <平成28年4月> システム最適化特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	講師	中島 翔太 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ <b>電子制御特論</b>
専	講師	山田 洋明 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 電力品質論
専	助教	山本 綱之 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	教授	石川 昌明 <平成28年4月> 分布システム制御特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	教授	大林 正直 <平成28年4月> 複雑混沌系工学特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	若佐 裕治 <平成28年4月> システム最適化特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	講師	中島 翔太 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ <b>電子制御特論</b>
専	講師	山田 洋明 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 電力品質論
専	助教	山本 綱之 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ <b>導波型デバイス特論</b>
専	教授	石川 昌明 <平成28年4月> 分布システム制御特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	助教	<b>MOHD ANUARUDDIN BIN AHMADON</b> <平成29年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	若佐 裕治 <平成30年4月> システム最適化特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ
専	講師	中島 翔太 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ <b>電子制御特論</b>
専	講師	山田 洋明 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ 電力品質論
専	助教	山本 綱之 <平成28年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ <b>導波型デバイス特論</b>
専	教授	石川 昌明 <平成28年4月> 分布システム制御特論 システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ システム・デザイン 工学特別講義
専	助教	<b>MOHD ANUARUDDIN BIN AHMADON</b> <平成29年4月> システム・デザイン 工学ゼミナールⅠ システム・デザイン 工学ゼミナールⅡ













専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼担	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論
		東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼担	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
		川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
兼担	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
		大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロジー特論 イノベーション特論
兼担	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピング特論 製品開発特論
兼担	准教授	植村 隆 <平成28年4月> 科学・技術英語特論S
		柳原 宏 <平成28年4月> 応用解析学特論
兼担	講師	堀田 一敬 <平成28年4月> 応用解析学特論
		池田 敏春 <平成28年4月> 数理工学特論
兼担	准教授	西山 高弘 <平成28年4月> 数理工学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼担	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論 キャリアデザインⅡ
		東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼担	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
		川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
兼担	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
		大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロジー特論 イノベーション特論
兼担	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピング特論 製品開発特論
兼担	准教授	植村 隆 <平成28年4月> 科学・技術英語特論S
		柳原 宏 <平成28年4月> 応用解析学特論
兼担	講師	堀田 一敬 <平成28年4月> 応用解析学特論
		池田 敏春 <平成28年4月> 数理工学特論
兼担	准教授	西山 高弘 <平成28年4月> 数理工学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼担	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論
		東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼担	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
		川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
兼担	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
		大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロジー特論 イノベーション特論
兼担	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピング特論 製品開発特論
兼担	准教授	植村 隆 <平成28年4月> 科学・技術英語特論S
		柳原 宏 <平成28年4月> 応用解析学特論
兼担	講師	堀田 一敬 <平成28年4月> 応用解析学特論
		池田 敏春 <平成28年4月> 数理工学特論
兼担	准教授	西山 高弘 <平成28年4月> 数理工学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼担	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論
		東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼担	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
		川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
兼担	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション特論
		大島 直樹 <平成28年4月> イノベーション特論
兼担	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピング特論 製品開発特論
		福代 和宏 <平成30年4月> リサーチメソドロジー特論
兼担	准教授	植村 隆 <平成28年4月> 科学・技術英語特論S
		柳原 宏 <平成28年4月> 応用解析学特論
兼担	講師	堀田 一敬 <平成28年4月> 応用解析学特論
		池田 敏春 <平成28年4月> 数理工学特論
兼担	准教授	西山 高弘 <平成28年4月> 数理工学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
		柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
兼担	講師	
兼担	教授	兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	増山 博行 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
		柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
兼担	講師	
兼担	教授	兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	増山 博行 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	小林 淳 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	URA	田口 岳志 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	進士 正人 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	松野 浩嗣 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
		柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
兼担	講師	
兼担	教授	兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	増山 博行 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	山本 節夫 ＜平成29年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	准教授	安達 健太 ＜平成29年4月＞ キャリアデザインⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	岡田 真理 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
		柳下 剛広 ＜平成28年4月＞ 応用数理科学特論
兼担	講師	
兼担	教授	堀 憲次 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	兵動 正幸 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	濱田 純夫 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	アドバイザー	増山 博行 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	山田 陽一 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	山中 明 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインⅡ
兼担	教授	小林 淳 ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- 平成28年4月、中島翔太講師、河村圭准教授、藤田悠介准教授、呉本亮助教、佐村俊和助教、守田了准教授、為末隆弘准教授、小河原加久治教授、石野洋子教授、高橋雅和准教授、今岡啓治准教授の担当授業科目を変更。
- 平成28年4月、小柴満美子准教授、王元元助教就任。
- 平成28年4月、兼任教員として、南和幸教授、小林淳教授、田口岳志URA、進士正人教授、松野浩嗣教授就任。
- 平成28年4月、兼任教員として、三須俊幸非常勤講師、野村博非常勤講師、浅田宏之非常勤講師、松村直樹非常勤講師、山口徹非常勤講師、町田尚史非常勤講師就任。
- 平成29年3月、田中幹也教授、田村慶信准教授、野田淳二准教授の辞職。
- 平成29年3月、羽野光夫教授、大林正直教授定年退職。

【平成29年度】

- 平成29年4月、MOHD ANUARUDDIN BIN AHMADON 助教就任。
- 平成29年4月、山口真悟教授、簡智真吾准教授昇任。
- 平成29年4月、山本綱之助教、山口真悟教授、合田公一教授の担当授業科目を変更。
- 平成29年4月、兼任教員として、中原佐助教、山本節夫教授、安達健太准教授、西井淳教授就任。
- 平成29年4月、兼任教員として、堀江穆非常勤講師、坪郷浩一非常勤講師、藤井一宏非常勤講師就任。
- 平成29年9月、森田美准教授昇任。
- 平成29年12月、木下武志准教授の辞職。

【平成30年度】

- 平成30年4月、若佐裕治教授、佐村俊和准教授、新銀秀徳准教授昇任。
- 平成30年4月、兼任教員として、福代和宏教授、堀憲次教授、山田陽一教授、山中明教授就任。
- 平成30年4月、兼任教員として、岡林千夫非常勤講師就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 「**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
15	25	2	8	50	14	25	2	5	46	14	25	2	5	46
(15)	(25)	(2)	(8)	(50)						[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ3 ]	[ Δ4 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
42	8	0			41	5	0			41	5	0		
(42)	(8)	(0)								[ Δ1 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C) =  $\frac{46}{50} = 92$  %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	田中 幹也	選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	①	H29.3.31付け他大学へ就職のため辞任 (29)	
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	①		
			選択	電子制御特論	①		
2	准教授	田村 慶信	選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	①	H29.3.31付け他大学へ就職のため辞任 (29)	
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	①		
			選択	ソフトウェア高度信頼化学特論	①		
3	准教授	野田 淳二	選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	①	H29.3.31付け他大学へ就職のため辞任 (29)	
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	①		
4	准教授	木下 武志	選択	映像デザイン特論	①	H29.12.20付け自己都合のため辞任 (30)	
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	①		
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	①		
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{49} = \boxed{8.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	羽野 光夫	選択	電磁システム工学特論	①	H29. 3. 31付け65歳で定年退職 (29)			
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	①				
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	①				
2	教授	大林 正直	選択	複雑混沌系工学特論	①	H29. 3. 31付け65歳で定年退職 (29)			
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	①				
			選択	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	①				
			選択	システム・デザイン工学特別講義	①				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p><b>【大学の所見】</b> 担当科目は他に担当教員がいるため支障はない。</p> <p><b>【学生への周知方法】</b> 研究科要覧により周知している。</p>
---

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年 4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年 2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年度 6月27日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・自己点検・評価に関する事項 ・教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・教員の能力開発に関する事項 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・授業公開 ・全学FD・SD講演会 ・教育改善FD研修会</p> <p>b 実施方法 ・授業公開 期間を定めて公開授業を実施し，教員に授業を参観させた。 ・全学FD・SD講演会 本学の大学教育センター教員の他，学内外の講師で開催されたアクティブラーニングにおける諸問題とその解決策に関する講演会を遠隔講義システムで受信し聴講を行った。 ・教育改善FD研修会 本学の大学教育センター教員を講師として，カリキュラムマップ及びカリキュラムフローチャートの見直しに関する研修を行った。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・授業公開 参観者数：5名 ・全学FD・SD講演会 参加者数：3名 ・教育改善FD研修会 参加者数：29名</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ，授業担当教員にフィードバックすることで，教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り，教育の質的向上に努めている。 また，学生の多様性に対応する教員の能力向上のため，講演会，研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施：有 実施時期：最終回の授業時</p> <p>b 教員や学生への公開状況，方法等 教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。</p>
--

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 平成28年度に開設し、現在まで順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。
② 自己点検・評価報告書 a 公表（予定）時期 ・平成31年8月公表予定 b 公表方法 ・山口大学自己点検評価書を作成し、大学ホームページにて公表予定
③ 認証評価を受ける計画 ・平成27年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受審、次回受審年度は平成33年度を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書 a ホームページに公表（予定）の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 9 月 1 日 )
---

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

## (2) 大学名

山口大学

## (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677番地1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			該当なし
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月)	(ツツミ ヒロモリ) 堤 宏守 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成30年4月1日 (30)
専攻長	(イマイ ツヨシ) 今井 剛 (平成28年4月)	<del>(イカルガ シンジ)</del> 鷗 心治 <del>(平成29年度4月)</del> (セキネ マサヒコ) 関根 雅彦 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日 <del>(29)</del> 変更年月日：平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 環境共生系専攻 (博士後期課程)  博士(工学) 博士(学術)	工学関係	年  3	人  12	人  36	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12人 若干名		12人 若干名		12人 人				1.02倍	
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
志願者数	9	2	13	6	10					
	( 6 )	( - )	( 7 )	( 2 )	( 7 )	( )	( )	( )		
	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 5 ]	[ 4 ]	[ 3 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	8	2	13	6	10					
	( 6 )	( - )	( 7 )	( 2 )	( 7 )	( )	( )	( )		
	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 5 ]	[ 4 ]	[ 3 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	8	2	13	6	10					
	( 6 )	( - )	( 7 )	( 2 )	( 7 )	( )	( )	( )		
	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 5 ]	[ 4 ]	[ 3 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	8	2	13	5	9					
	( 6 )	( - )	( 7 )	( 2 )	( 7 )	( )	( )	( )		
	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 5 ]	[ 3 ]	[ 2 ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	0.83		1.50		0.75					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	8 [ 2 ] ( - )	0 [ - ] ( - )	13 [ 5 ] ( - )	2 [ 1 ] ( - )	9 [ 2 ]	5 [ 3 ]	平成28年4月に春季入学した8名のうち、2名については平成30年3月に早期修了。
2年次	/		8 [ 2 ] ( - )	0 [ - ] ( - )	13 [ 5 ]	2 [ 1 ] ( - )	
3年次	/				6 [ 2 ] ( - )	0 [ - ] ( - )	
計	8 [ 2 ] ( - )		23 [ 8 ] ( - )		35 [ 13 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	23人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	35人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	66人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1			1						1
	知的財産特論	1後	1			1						2
	サイエンティフィックライティング	1前		1		1						2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						2
	リサーチメソッドロジー特論	1-2前		2		1						1
	イノベーション特論	1-2前		2		1						1
	技術ロードマッピング特論	1-2後		2		1						1
	製品開発特論	1-2後		2		1						1
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1						2
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前・後		1~4		1						
長期インターンシップⅡ	1-2-3前・後		6		1							
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	環境社会基盤特論	1-2-3前・後		2		6	4		3			
	環境熱流体輸送工学特論	1-2-3前・後		2		4	3					
	環境プロセス特論	1-2-3前・後		2		1						
	環境共生学原論	1-2-3前・後		2		5	6		2			
	環境共生総合演習	1-2-3前・後		2		28	20	3	8			
	環境共生ゼミナールⅠ	1-2-3前・後		2		28	20	3	8			
	環境共生ゼミナールⅡ	1-2-3前・後		2		28	20	3	8			
	科学・技術英語特論S	1-2-3前・後		2								1
	応用解析学特論	1-2前・後		2								2
数理工学特論	1-2前・後		2								2	
応用数理学特論	1-2前・後		2								2	
専門科目	環境地盤工学特論	1-2-3前・後		2		1				1		
	土質力学特論	1-2-3前・後		2		1						
	岩盤システム工学特論	1-2-3前・後		2		1				1		
	社会基盤情報工学特論	1-2-3前・後		2		1						
	構造振動解析学特論	1-2-3前・後		2		1						
	地盤材料工学特論	1-2-3前・後		2		1						
	構造工学特論	1-2-3前・後		2			1					
	耐震地盤工学特論	1-2-3前・後		2			1					
	建設材料工学特論	1-2-3前・後		2			1					
	構造設計特論	1-2-3前・後		2			1					
応用水理学特論	1-2-3前・後		2		1							

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1									1
	知的財産特論	1後	1									2
	サイエンティフィックライティング	1前		1								2
	プレゼンテーション特論	1後		1								2
	リサーチメソッドロジー特論	1-2前		2								1
	イノベーション特論	1-2前		2								1
	技術ロードマッピング特論	1-2後		2								1
	製品開発特論	1-2後		2								1
	キャリアデザインⅡ	1前		2								12
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前・後		1~4		1						
長期インターンシップⅡ	1-2-3前・後		6		1							
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2					1				
	環境社会基盤特論	1-2-3前・後		2				1				
	環境熱流体輸送工学特論	1-2-3前・後		2				3	2			
	環境プロセス特論	1-2-3前・後		2				1				
	環境共生学原論	1-2-3前・後		2				2				
	環境共生総合演習	1-2-3前・後		2				22	22	3	8	
	環境共生ゼミナールⅠ	1-2-3前・後		2				22	22	3	8	
	環境共生ゼミナールⅡ	1-2-3前・後		2				22	22	3	8	
	科学・技術英語特論S	1後		2				1				1
	応用解析学特論	1-2前・後		2								2
数理工学特論	1-2前・後		2								2	
応用数理学特論	1-2前・後		2								2	
専門科目	環境地盤工学特論	1-2-3前・後		2				2				
	土質力学特論	1-2-3前・後		2						1		
	岩盤システム工学特論	1-2-3前・後		2			1					
	社会基盤情報工学特論	1-2-3前・後		2			1					
	構造振動解析学特論	1-2-3前・後		2			1					
	地盤材料工学特論	1-2-3前・後		2			1					
	構造工学特論	1-2-3前・後		2				1				
	耐震地盤工学特論	1-2-3前・後		2				1				
	建設材料工学特論	1-2-3前・後		2					1			
	構造設計特論	1-2-3前・後		2					1			
応用水理学特論	1-2-3前・後		2			1		1				

専門科目	環境影響評価特論	1-2-3 前・後	2		1			1		
	都市基盤システム工学特論	1-2-3 前・後	2		2					
	数値流体力学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	社会的意思決定論	1-2-3 前・後	2			1				
	流域圏土砂動態特論	1-2-3 前・後	2			1				
	河川・流域環境特論	1-2-3 前・後	2			1				
	情報社会基盤工学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	地域防災計画学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	持続的リスクマネジメント特論	1-2-3 前・後	2			1				
	都市設計学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	建築構造工学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	空間システム計画学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	建築構造システム化特論	1-2-3 前・後	2		1					
	人間環境工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	建築材料工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	グリーンケミカルプロセス特論	1-2-3 前・後	2		1					
	分離設計工学特論	1-2-3 前・後	2		1	1				
	資源環境システム工学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	水質保全工学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	大気環境工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	レオロジー工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
高効率分離工学特論	1-2-3 前・後	2			1					
生化学変換プロセス特論	1-2-3 前・後	2			1					
複雑熱移動工学特論	1-2-3 前・後	2		1						
環境熱流体工学特論	1-2-3 前・後	2		1	1					
推進工学特論	1-2-3 前・後	2		1	1					
統計流体力学特論	1-2-3 前・後	2		1						

専門科目	環境影響評価特論	1-2-3 前・後	2		1	1				
	都市基盤システム工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	数値流体力学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	社会的意思決定論	1-2-3 前・後	2			1	1			
	流域圏土砂動態特論	1-2-3 前・後	2			1				
	河川・流域環境特論	1-2-3 前・後	2			1				
	情報社会基盤工学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	地域防災計画学特論	1-2-3 前・後	2							2
	持続的リスクマネジメント特論	1-2-3 前・後	2			1				
	都市設計学特論	1-2-3 前・後	2		1					
	建築構造工学特論	1-2-3 前・後	2		1			1		
	空間システム計画学特論	1-2-3 前・後	2		1			1		
	建築構造システム化特論	1-2-3 前・後	2		1					
	人間環境工学特論	1-2-3 前・後	2			1	1			
	建築材料工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	グリーンケミカルプロセス特論	1-2-3 前・後	2				1			
	分離設計工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	資源環境システム工学特論	1-2-3 前・後	2			1	1			
	水質保全工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	大気環境工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
	レオロジー工学特論	1-2-3 前・後	2			1				
高効率分離工学特論	1-2-3 前・後	2					1			
生化学変換プロセス特論	1-2-3 前・後	2					1			
複雑熱移動工学特論	1-2-3 前・後	2					1			
環境熱流体工学特論	1-2-3 前・後	2			1					
推進工学特論	1-2-3 前・後	2			1	1				
統計流体力学特論	1-2-3 前・後	2			1					



【平成28年度】

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1								1
	知的財産特論	1後	1								2
	サイエンティフィックライティング	1前		1							2
	プレゼンテーション特論	1後		1							2
	リサーチメソッドロジー特論	1-2前		2							1
	イノベーション特論	1-2前		2							1
	技術ロードマッピング特論	1-2後		2							1
	製品開発特論	1-2後		2							1
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1					13
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前・後	1~4			1					
長期インターンシップⅡ	1-2-3前・後	6			1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1					
	環境社会基盤特論	1-2-3前・後	2			7	3		3		
	環境熱流体輸送工学特論	1-2-3前・後	2			4	3				
	環境プロセス特論	1-2-3前・後	2			1					
	環境共生学原論	1-2-3前・後	2			5	6		2		
	環境共生総合演習	1-2-3前・後	2			26	20	3	10		
	環境共生ゼミナールⅠ	1-2-3前・後	2			26	20	3	10		
	環境共生ゼミナールⅡ	1-2-3前・後	2			26	20	3	10		
	科学・技術英語特論S	1後	2			1					
	応用解析学特論	1-2前・後	2								2
数理工学特論	1-2前・後	2								2	
応用数理科学特論	1-2前・後	2								2	
専門科目	環境地盤工学特論	1-2-3前・後	2			2					
	土質力学特論	1-2-3前・後	2			1					
	岩盤システム工学特論	1-2-3前・後	2			1					
	社会基盤情報工学特論	1-2-3前・後	2			1					
	構造振動解析学特論	1-2-3前・後	2			1					
	地盤材料工学特論	1-2-3前・後	2			1					
	構造工学特論	1-2-3前・後	2			1					
	耐震地盤工学特論	1-2-3前・後	2			1					
	建設材料工学特論	1-2-3前・後	2			1					
	構造設計特論	1-2-3前・後	2			1					
	応用水理学特論	1-2-3前・後	2			1					
	環境影響評価特論	1-2-3前・後	2			1				1	
	都市基盤システム工学特論	1-2-3前・後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1								1
	知的財産特論	1後	1								2
	サイエンティフィックライティング	1前		1							2
	プレゼンテーション特論	1後		1							2
	リサーチメソッドロジー特論	1-2前		2							1
	イノベーション特論	1-2前		2							1
	技術ロードマッピング特論	1-2後		2							1
	製品開発特論	1-2後		2							1
	キャリアデザインⅡ	1前		2							12
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前・後	1~4			1					
長期インターンシップⅡ	1-2-3前・後	6			1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2					1			
	環境社会基盤特論	1-2-3前・後	2					1			
	環境熱流体輸送工学特論	1-2-3前・後	2					2	3		
	環境プロセス特論	1-2-3前・後	2					1			
	環境共生学原論	1-2-3前・後	2					1			
	環境共生総合演習	1-2-3前・後	2					27	22	3	11
	環境共生ゼミナールⅠ	1-2-3前・後	2					27	22	3	11
	環境共生ゼミナールⅡ	1-2-3前・後	2					27	22	3	11
	科学・技術英語特論S	1後	2					1			1
	応用解析学特論	1-2前・後	2								2
数理工学特論	1-2前・後	2								2	
応用数理科学特論	1-2前・後	2								2	
専門科目	環境地盤工学特論	1-2-3前・後	2					2			
	土質力学特論	1-2-3前・後	2						1		
	岩盤システム工学特論	1-2-3前・後	2					1			
	社会基盤情報工学特論	1-2-3前・後	2					1			
	構造振動解析学特論	1-2-3前・後	2					1			
	地盤材料工学特論	1-2-3前・後	2					1			
	構造工学特論	1-2-3前・後	2						1		
	耐震地盤工学特論	1-2-3前・後	2					1			
	建設材料工学特論	1-2-3前・後	2						1		
	構造設計特論	1-2-3前・後	2						1		
	応用水理学特論	1-2-3前・後	2						1		
	環境影響評価特論	1-2-3前・後	2							1	
	都市基盤システム工学特論	1-2-3前・後	2						1		

専 門 科 目	数値流体力学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	社会的意思決定論	1-2-3 前・後	2		2															
	流域圏土砂動態特論	1-2-3 前・後	2			1														
	河川・流域環境特論	1-2-3 前・後	2			1														
	情報社会基盤工学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	地域防災計画学特論	1-2-3 前・後	2						2											
	持続的リスクマネジメント特論	1-2-3 前・後	2			1														
	都市設計学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	建築構造工学特論	1-2-3 前・後	2	1		1														
	空間システム計画学特論	1-2-3 前・後	2	1		1														
	建築構造システム化特論	1-2-3 前・後	2	1																
	人間環境工学特論	1-2-3 前・後	2		1															
	建築材料工学特論	1-2-3 前・後	2			1														
	グリーンケミカルプロセス特論	1-2-3 前・後	2			1														
	分離設計工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1															
	資源環境システム工学特論	1-2-3 前・後	2	1		1														
	水質保全工学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	大気環境工学特論	1-2-3 前・後	2			1														
	レオロジー工学特論	1-2-3 前・後	2		1															
	高効率分離工学特論	1-2-3 前・後	2			1														
生化学変換プロセス特論	1-2-3 前・後	2			1															
複雑熱移動工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1																
環境熱流体工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1																
推進工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1																
統計流体力学特論	1-2-3 前・後	2	1																	

専 門 科 目	数値流体力学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	社会的意思決定論	1-2-3 前・後	2	1	1															
	流域圏土砂動態特論	1-2-3 前・後	2			1														
	河川・流域環境特論	1-2-3 前・後	2			1														
	情報社会基盤工学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	地域防災計画学特論	1-2-3 前・後	2						2											2
	持続的リスクマネジメント特論	1-2-3 前・後	2			1														
	都市設計学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	建築構造工学特論	1-2-3 前・後	2	1		1														1
	空間システム計画学特論	1-2-3 前・後	2	1		1														1
	建築構造システム化特論	1-2-3 前・後	2	1																
	人間環境工学特論	1-2-3 前・後	2		1															
	建築材料工学特論	1-2-3 前・後	2			1														
	グリーンケミカルプロセス特論	1-2-3 前・後	2			1														
	分離設計工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1															
	資源環境システム工学特論	1-2-3 前・後	2	1		1														
	水質保全工学特論	1-2-3 前・後	2	1																
	大気環境工学特論	1-2-3 前・後	2			1														
	レオロジー工学特論	1-2-3 前・後	2		1															
	高効率分離工学特論	1-2-3 前・後	2			1														1
生化学変換プロセス特論	1-2-3 前・後	2			1														1	
複雑熱移動工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1															1	
環境熱流体工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1															1	
推進工学特論	1-2-3 前・後	2	1	1															1	
統計流体力学特論	1-2-3 前・後	2	1																1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・ 具体的な担当教員の確定により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「教授0・兼13」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境社会基盤特論」の専任教員等の配置を「教授6・准教授4・講師3」から「教授7・准教授3・講師3」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境共生総合演習」、「環境共生ゼミナールⅠ」及び「環境共生ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授28・准教授20・講師1・助教8」から「教授26・准教授20・講師3・助教10」に変更
- ・ 「科学・技術英語特論S」の配当年次を「1・2・3前・後」から「1後」に変更
- ・ 教育効果充実のため及び担当教員の昇任のため、「科学・技術英語特論S」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更
- ・ 教育効果充実のため及び担当教員の昇任のため、「環境地盤工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授0・准教授2・助教0」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「岩盤システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1・助教0」に変更
- ・ 担当教員の昇任により、「耐震地盤工学特論」の専任教員等の配置を「教授0・准教授1」から「教授1・准教授0」に変更
- ・ 担当教員の退職のため、「都市基盤システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「数値流体力学特論」の専任教員等の配置を「教授0・准教授1」から「教授1・准教授0」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「社会的意思決定論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「地域防災計画学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼2」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「建築構造工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・講師0」から「教授1・講師1」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「空間システム計画学特論」の専任教員等の配置を「教授1・講師0」から「教授1・講師1」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「人間環境工学特論」の専任教員等の配置を「教授0・准教授1」から「教授1・准教授0」に変更
- ・ 担当教員の退職のため、「グリーンケミカルプロセス特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授0」から「教授0・准教授1」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「資源環境システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・講師0」から「教授1・講師1」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「レオロジー工学特論」の専任教員等の配置を「教授0・准教授1」から「教授1・准教授0」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「複雑熱移動工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授0」から「教授1・准教授1」に変更

【平成29年度】

- ・ 具体的な担当教員の確定により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼12」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境社会基盤特論」の専任教員等の配置を「教授7・准教授3・講師3」から「教授1」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境熱流体輸送工学特論」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3」から「教授2・准教授3」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境共生学原論」の専任教員等の配置を「教授5・准教授6・助教2」から「教授1」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境共生総合演習」「環境共生ゼミナールⅠ」及び「環境共生ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授26・准教授20・講師3・助教10」から「教授27・准教授22・講師3・助教11」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境共生ゼミナールⅠ」及び「環境共生ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授26・准教授19・講師2・助教11」から「教授27・准教授22・講師3・助教11」に変更
- ・ 担当教員の退職により、「土質力学特論」の専任教員等の配置を「教授1・講師0」から「教授0・講師1」に変更
- ・ 担当教員の昇任により、「社会的意思決定論」の専任教員等の配置を「教授0・准教授2」から「教授1・准教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇任により、「建築材料工学特論」の専任教員等の配置を「教授0・准教授1」から「教授1・准教授0」に変更
- ・ 担当教員の昇任により、「資源環境システム工学特論」の専任教員等の配置を「准教授0・講師1」から「准教授1・講師0」に変更

【平成30年度】

- ・ 担当教員の昇任により、「環境熱流体輸送工学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授3」から「教授3・准教授2」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「環境共生学原論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更
- ・ 具体的な担当教員の確定により、「環境共生総合演習」「環境共生ゼミナールⅠ」及び「環境共生ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授27・准教授22・講師3・助教11」から「教授22・准教授22・講師3・助教8」に変更
- ・ 担当教員の退職により、「応用水理学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授0」から「教授1・准教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇任により、「環境影響評価特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授0・助教1」から「教授1・准教授1・助教0」に変更
- ・ 担当教員の退職により、「都市基盤システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授0」から「教授0・准教授1」に変更
- ・ 教育効果充実のため、「人間環境工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授0」から「教授1・准教授1」に変更
- ・ 担当教員の退職により、「分離設計工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授0・准教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇任により、「大気環境工学特論」の専任教員等の配置を「教授0・准教授1」から「教授1・准教授0」に変更
- ・ 担当教員の退職により、「複雑熱移動工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授0・准教授1」に変更
- ・ 教員の退職及び昇任等により、「環境熱流体工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授0」に変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
3	58		61	3	58		61	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{61} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	区分の見直しによる変更(30)		
	校舎敷地	413,643 360,369 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	413,643 360,369 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	127,053 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	127,053 m <sup>2</sup>			
	小 計	540,696 487,422 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	540,696 487,422 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	64,370 117,644 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	64,370 117,644 m <sup>2</sup>			
	合 計	605,066 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	605,066 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		391,082 m <sup>2</sup> ( 391,082 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	391,082 m <sup>2</sup> ( 391,082 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		103 室	702 室	787 室	5 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		創成科学研究科 環境共生系専攻			63 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分を含む  教育研究の充実及び購入計画の見直し等による変更(30)
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
		創成科学研究科 環境共生系専攻	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885]	10,217 [6,056] 7,415 [6,152]	3,773 3,336	16 153	0	
計	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885]	10,217 [6,056] 7,415 [6,152]	3,773 3,336	16 153	0			
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		13,063m <sup>2</sup>	1,590 席		1,501,056 冊			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		6,956 m <sup>2</sup>	陸上競技場, 野球場, サッカー場 他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
【学部】								
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1
人文学科	4	185	-	555	学士 (文学)	1.06	平成28年度	平成28年度より学生募集停止 (人文学部：人文社会学科, 言語文化学科)
人文社会学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度	
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度	
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1
学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士 (教育学)	1.04	平成10年度	平成27年度より学生募集停止 (教育学部：実践臨床教育課程, 情報科学教育課程, 健康科学教育課程, 総合文化教育課程)
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度	
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度	
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度	
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成元年度	
経済学部								山口県山口市吉田1677番地1
経済学科	4	130	-	520	学士 (経済学)	-	昭和24年度	平成27年度より学生募集停止 (経済学部：国際経済学科, 経済法学科, 商業教員養成課程)
経営学科	4	165	-	660	学士 (経済学)	-	昭和24年度	
国際経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和52年度	
経済法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	昭和55年度	
観光政策学科	4	50	-	200	学士 (経済学)	-	平成17年度	
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和29年度	
理学部								山口県山口市吉田1677番地1
数理科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	平成7年度	
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	平成18年度	
生物・化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.01	平成18年度	
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.08	平成18年度	
医学部			2年次					山口県宇部市南小串1丁目1番1号
医学科	6	107	10	692	学士 (医学)	1.00	昭和39年度	平成30年度より3年次編入学生募集停止 (医学部保健学科)
保健学科	4	120	-	495	学士 (看護学, 保健学)	1.01	平成12年度	

工学部			3年次					山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	5	370	学士 (工学)	1.07	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.02	平成19年度		
			3年次						
電気電子工学科	4	80	5	330	学士 (工学)	1.03	平成2年度		
			3年次						
知能情報工学科	4	80	10	340	学士 (工学)	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.06	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.07	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	※平成24年度より 学生募集停止（農 学部獣医学科）
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.02	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度		
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.04	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	400	学士 (学術)	1.04	平成27年度		
【大学院】									
人文科学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.62	平成28年度		
教育学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.35	平成3年度		
教科教育専攻	2	17	-	34	修士 (教育学)	1.05	平成3年度		
(専門職学位課程)									
教職実践高度化専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度		
経済学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士 (経済学)	0.81	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.70	平成7年度		

<b>医学系研究科</b>							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止 (医学系研究科： (一貫制博士課程) システム統御医学系専攻、情報解析医学系専攻、(博士前期課程)応用医工学専攻、(博士後期課程)応用医工学系専攻、応用分子生命科学系専攻)	
(一貫制博士課程)									
医学専攻	4	33	-	99	博士 (医学)	0.93			平成28年度
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
(博士前期課程)									
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士 (医工学)	-			平成13年度
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (保健学)	1.08			平成17年度
(博士後期課程)									
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士 (医工学)	-			平成13年度
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学、学術)	-			平成18年度
保健学専攻	3	5	-	15	博士 (保健学)	0.86			平成19年度
<b>創成科学研究科</b>									山口県山口市吉田1677番地1
(博士前期課程)									
基盤科学系専攻	2	38	-	76	修士 (理学)	0.98	平成28年度		
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	84	修士 (理学)	1.05	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	0.95	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	148	修士 (工学)	0.81	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	166	修士 (工学、学術)	0.95	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	214	修士 (工学)	0.96	平成28年度		
農学系専攻 (鳥取大学大学院 連合農学研究科に参加)	2	42	-	84	修士 (農学、生命科学)	0.66	平成28年度		
(博士後期課程)									
自然科学系専攻	3	7	-	21	博士 (理学、学術)	0.61	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	30	博士 (工学、学術)	0.76	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	36	博士 (工学、学術)	1.05	平成28年度		
物質工学系専攻	3	8	-	24	博士 (工学、学術)	0.41	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	21	博士 (医工学、生命科学、学術)	1.09	平成28年度		
<b>理工学研究科</b>							山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (理工学研究科： (博士後期課程)自然科学基盤系専攻、物質工学系専攻、システム設計工学系専攻、情報・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻)	
(博士後期課程)									
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-			平成18年度
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-			平成18年度
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度		



情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士 (理学, 工学, 学術)	-	平成18年度		
東アジア研究科 (博士後期課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士 (学術)	1.13	平成13年度		
技術経営研究科 (専門職学位課程)								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営 修士 (専門職)	1.36	平成17年度		
連合獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	4	-	40	博士 (獣医学)	1.62	平成2年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鳥取大学 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	平成30年度入学定員減(△8人) (連合獣医学研究科：獣医学専攻)
共同獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	6	-	6	博士 (獣医学)	1.16	平成30年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	中村 秀明 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 情報社会基盤工学特論
専	教授	松田 博 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 土質力学特論
専	教授	清水 則一 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 岩盤システム工学特論 環境社会基盤特論
専	教授	進士 正人 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 社会基盤情報工学特論 環境社会基盤特論
専	教授	麻生 稔彦 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 構造振動解析学特論 環境社会基盤特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	中村 秀明 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 情報社会基盤工学特論
専	教授	松田 博 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 土質力学特論
専	教授	清水 則一 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 岩盤システム工学特論 環境社会基盤特論
専	教授	進士 正人 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 社会基盤情報工学特論 環境社会基盤特論 キャリアデザインII
専	教授	麻生 稔彦 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 構造振動解析学特論 環境社会基盤特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	中村 秀明 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 情報社会基盤工学特論
専	講師	原 弘行 <平成29年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 土質力学特論
専	教授	清水 則一 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 岩盤システム工学特論
専	教授	進士 正人 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 社会基盤情報工学特論
専	教授	麻生 稔彦 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 構造振動解析学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	中村 秀明 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 情報社会基盤工学特論
専	講師	原 弘行 <平成29年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 土質力学特論
専	教授	清水 則一 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 岩盤システム工学特論
専	教授	進士 正人 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 社会基盤情報工学特論
専	教授	麻生 稔彦 <平成28年4月>
		環境共生総合演習 環境共生ゼミナールI 環境共生ゼミナールII 構造振動解析学特論





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	中島 伸一郎
		<平成28年4月> 環境社会基盤特論 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	助教	吉本 憲正
		<平成28年4月> 環境社会基盤特論 環境共生学原論 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境地盤工学特論
専	助教	神野 有生
		<平成28年4月> 環境社会基盤特論 環境共生学原論 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境影響評価特論
専	教授	鵜 心治
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 都市設計学特論
専	教授	稲井 栄一
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 建築構造工学特論
専	教授	内田 文雄
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	教授	中園 真人
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 空間システム計画学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	中島 伸一郎
		<平成28年4月> 環境社会基盤特論 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	准教授	吉本 憲正
		<平成28年4月> 環境社会基盤特論 環境共生学原論 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境地盤工学特論
専	助教	神野 有生
		<平成28年4月> 環境社会基盤特論 環境共生学原論 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境影響評価特論
専	教授	鵜 心治
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 都市設計学特論
専	教授	稲井 栄一
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 建築構造工学特論
専	教授	内田 文雄
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	教授	中園 真人
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 空間システム計画学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中島 伸一郎
		<平成29年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	准教授	吉本 憲正
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境地盤工学特論
専	助教	神野 有生
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境影響評価特論
専	教授	鵜 心治
		<平成28年4月> <b>最先端自然科学研究 科目</b> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 都市設計学特論 <b>学外特別研修Ⅱ 長期インターンシッ プⅡ</b>
専	教授	稲井 栄一
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 建築構造工学特論
専	教授	内田 文雄
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	教授	中園 真人
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 空間システム計画学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中島 伸一郎
		<平成29年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	准教授	吉本 憲正
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境地盤工学特論
専	准教授	神野 有生
		<平成30年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境影響評価特論
専	教授	鵜 心治
		<平成30年4月> <b>環境共生学原論</b> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 都市設計学特論 <b>建築構造システム化 特論</b>
専	教授	稲井 栄一
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 建築構造工学特論
専	教授	内田 文雄
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ
専	教授	中園 真人
		<平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 空間システム計画学特論













専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	助教	金 炫兌 <平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II
専	助教	貝出 純 <平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II
兼任	准教授	瀧本 浩一 <平成28年4月> 地域防災計画学特論
兼任	准教授	河村 圭 <平成28年4月> 地域防災計画学特論
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論 キャリアデザインII
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	助教	金 炫兌 <平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II
専	助教	三島 幸子 <平成29年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II
専	助教	貝出 純 <平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II
兼任	准教授	瀧本 浩一 <平成28年4月> 地域防災計画学特論
兼任	准教授	河村 圭 <平成28年4月> 地域防災計画学特論
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	助教	金 炫兌 <平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II
専	助教	貝出 純 <平成28年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II
専	准教授	桑原 亮一 <平成30年4月> 環境共生総合演習 環境共生ゼミナール I 環境共生ゼミナール II 人間環境工学特論
兼任	准教授	瀧本 浩一 <平成28年4月> 地域防災計画学特論
兼任	准教授	河村 圭 <平成28年4月> 地域防災計画学特論
兼任	准教授	林 里織 <平成28年4月> 研究者行動規範特論
兼任	教授	木村 友久 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	准教授	李 鎔環 <平成28年4月> 知的財産特論
兼任	講師	東島 仁 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	秋谷 直矩
		<平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	小川 仁志
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	大島 直樹
		<平成28年4月> リサーチメソッド ロジー特論 イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也
		<平成28年4月> 技術ロードマッピング 特論 製品開発特論
兼任	教授	柳原 宏
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	教授	池田 敏春
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	岡田 真理
		<平成28年4月> 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広
		<平成28年4月> 応用数理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	秋谷 直矩
		<平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	小川 仁志
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	大島 直樹
		<平成28年4月> リサーチメソッド ロジー特論 イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也
		<平成28年4月> 技術ロードマッピング 特論 製品開発特論
兼任	教授	柳原 宏
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	教授	池田 敏春
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	岡田 真理
		<平成28年4月> 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広
		<平成28年4月> 応用数理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	秋谷 直矩
		<平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	小川 仁志
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	大島 直樹
		<平成28年4月> リサーチメソッド ロジー特論 イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也
		<平成28年4月> 技術ロードマッピング 特論 製品開発特論
兼任	教授	柳原 宏
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	教授	池田 敏春
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	岡田 真理
		<平成28年4月> 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広
		<平成28年4月> 応用数理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	秋谷 直矩
		<平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	小川 仁志
		<平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	大島 直樹
		<平成30年4月> イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也
		<平成28年4月> 技術ロードマッピング 特論 製品開発特論
兼任	教授	柳原 宏
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	講師	堀田 一敬
		<平成28年4月> 応用解析学特論
兼任	教授	池田 敏春
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	西山 高弘
		<平成28年4月> 数理工学特論
兼任	准教授	岡田 真理
		<平成28年4月> 応用数理学特論
兼任	講師	柳下 剛広
		<平成28年4月> 応用数理学特論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ
兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ
			兼任	講師	浅田 宏之 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ						
			兼任	講師	三須 敏幸 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	講師	堀江 穆 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ			
			兼任	講師	野村 博 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ						
						兼任	講師	坪郷 浩一 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	講師	坪郷 浩一 <平成30年4月> キャリアデザインⅡ
			兼任	講師	山口 徹 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	講師	山口 徹 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	講師	山口 徹 <平成30年4月> キャリアデザインⅡ
						兼任	講師	藤井 一宏 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	講師	藤井 一宏 <平成29年4月> キャリアデザインⅡ
									兼任	講師	岡林 千夫 <平成30年4月> キャリアデザインⅡ
			兼任	講師	町田 尚史 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	講師	町田 尚史 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	講師	町田 尚史 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- 平成28年4月、榎村隆准教授、田島啓司助教、金炫兌助教、貝出綾助教の採用
- 平成28年4月、鈴木素之教授、吉本憲正准教授の昇任
- 平成28年4月、進士正人教授、朝井孝二教授、鈴木春菜准教授、MD、AZIZUL MOQSUD准教授、小金井真教授、孔相權講師、秋田知芳講師、鈴木祐麻講師、熊切泉准教授、葛山浩准教授、佐伯隆教授の担当授業科目を変更
- 平成28年4月、兼任教員の李鎔環准教授の担当科目を変更
- 平成28年4月、兼任教員として、瀧本浩一准教授、河村圭准教授、兵藤正幸教授(特命)、小林淳教授、田口岳志URA、松野浩嗣教授就任
- 平成28年4月、兼任教員として、松村直樹非常勤講師、浅田宏之非常勤講師、三須敏幸非常勤講師、野村博非常勤講師、山口徹非常勤講師、町田尚史非常勤講師就任

【平成29年度】

- 平成29年3月、松田博教授定年
- 平成29年4月、原弘行講師、梶山慎太郎助教、三島幸子助教の採用
- 平成29年4月、榎原弘之教授、中島伸一郎准教授、李柱国教授、鈴木祐麻准教授の昇任
- 平成29年4月、兼任教員として、森田昌行教授、山本節夫教授、西井淳教授、安達健太准教授就任
- 平成29年4月、兼任教員として、堀江穆非常勤講師、坪郷浩一非常勤講師、藤井一宏非常勤講師就任
- 平成29年4月、船心治教授の担当科目を変更
- 平成29年9月、長井正彦准教授を採用
- 平成29年10月、森啓年准教授を採用

【平成30年度】

- 平成30年3月、羽田野梨袋義教授、内田文雄教授、中倉英雄教授、加藤泰生教授、西村龍夫教授の定年
- 平成30年3月、今村能之教授任期満了
- 平成30年3月、藤田正則教授、森本真吾助教、三島幸子助教の退職
- 平成30年4月、桑原亮一准教授を採用
- 平成30年4月、関根雅彦教授、朝位孝二教授、赤松良久准教授、船心治教授、福代和宏教授の担当授業科目を変更
- 平成30年4月、樋口隆哉教授、田之上健一郎教授、神野有生准教授の昇任
- 平成30年4月、兼任教員として、堀憲次教授、山田陽一教授、山中明教授就任
- 平成30年4月、兼任教員として、岡林千夫非常勤講師就任

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
28	20	3	8	59	22	22	3	8	55	22	22	3	8	55
(25)	(20)	(3)	(10)	(58)						[ Δ6 ]	[ 2 ]	[ ]	[ ]	[ Δ4 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
51	8	0			47	8	0			47	8	0		
(46)	(8)	(0)								[ Δ4 ]	[ ]	[ ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{55}{59} = \boxed{93.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{55} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	三浦 房紀	選択	環境共生総合演習	①	H28. 3. 31 特命教員として就任予定であったが、本人の都合により就任辞退(28)				
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
			選択	都市基盤システム工学特論	①					
2	准教授	樋山 恭助	選択	環境共生総合演習	①	H28. 3. 31 本人の都合により就任辞退(28)				
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
3	教授	喜多 秀敏	選択	環境共生総合演習	①	H28. 3. 31 特命教員として就任予定であったが、本人の都合により就任辞退(28)				
			選択	グリーンケミカルプロセス特論	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
4	教授	兵藤 正幸	選択	環境共生総合演習	①	H28. 3. 31 特命教員として就任予定であったが、本人の都合により就任辞退(28)				
			選択	環境地盤工学特論	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	今村 能之	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け任期満了のため辞任 (30)				
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
			選択	都市基盤システム工学特論	①					
2	教授	藤田 正則	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け自己都合により辞任 (30)				
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
			選択	建築構造システム化特論	①					
3	助教	森本 真吾	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け任期満了のため辞任 (30)				
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
4	助教	三島 幸子	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け他大学へ就職のため辞任 (30)				
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①					
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
8 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	11 科目	計	11 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{8}{60} = 13.33 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	松田 博	選択	環境共生総合演習	①	H29. 3. 31付け65歳で定年退職 (29)		
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①			
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①			
			選択	土質力学特論	①			
2	教授	羽田野 袈裟義	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)		
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①			
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①			
			選択	応用水理学特論	①			
3	教授	内田 文雄	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)		
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①			
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①			
4	教授	中倉 英雄	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)		
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①			
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①			
			選択	分離設計工学特論	①			
5	教授	加藤 泰生	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)		
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①			
			必修	環境共生ゼミナールⅡ	①			
			必修	複雑熱移動工学特論	①			
6	教授	西村 龍夫	選択	環境共生総合演習	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)		
			選択	環境共生ゼミナールⅠ	①			
			選択	環境共生ゼミナールⅡ	①			
			選択	環境熱物流工学特論	①			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
6 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li><li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li><li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li></ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 担当科目は他に担当教員がいるため支障はない。</p>
---

<p>【学生への周知方法】 研究科要覧により周知している。</p>
---------------------------------------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年度 6月27日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・自己点検・評価に関する事項 ・教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・教員の能力開発に関する事項 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・授業公開 ・全学FD・SD講演会 ・教育改善FD研修会</p> <p>b 実施方法 ・授業公開 期間を定めて公開授業を実施し，教員に授業を参観させた。 ・全学FD・SD講演会 本学の大学教育センター教員の他，学内外の講師で開催されたアクティブラーニングにおける諸問題とその解決策に関する講演会を遠隔講義システムで受信し聴講を行った。 ・教育改善FD研修会 本学の大学教育センター教員を講師として，カリキュラムマップ及びカリキュラムフローチャートの見直しに関する研修を行った。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・授業公開 参観者数：5名 ・全学FD・SD講演会 参加者数：3名 ・教育改善FD研修会 参加者数：29名</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ，授業担当教員にフィードバックすることで，教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り，教育の質的向上に努めている。 また，学生の多様性に対応する教員の能力向上のため，講演会，研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施：有 実施時期：最終回の授業時</p> <p>b 教員や学生への公開状況，方法等 教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。</p>
--

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>平成27年度に開設し、現在まで順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・平成31年8月公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・山口大学自己点検評価書を作成し、大学ホームページにて公表予定</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成27年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受審、次回受審年度は平成33年度を予定している。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 30 年 9 月 1 日 )</p>
---

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

## (2) 大学名

山口大学

## (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677番地1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			該当なし
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月)	(ツツミ ヒロモリ) 堤 宏守 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成30年4月1日 (30)
専攻長	(マツイ ケンジ) 松井 健二 (平成28年4月)	<del>(イワオ ヤスヒロ)</del> 岩尾 康宏 <del>(平成29年4月)</del> (ヤマモト シュウイチ) 山本 修一 (平成30年4月)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日 <del>(29)</del> 変更年月日：平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻 (博士後期課程)  博士(医工学) 博士(生命科学) 博士(学術)	医学関係  理学関係  工学関係  農学関係	3年	7人	21人	基礎となる学部等  理学部, 工学部, 農学部, 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	7人 ( - ) [ 2 ]	若干名	7人 ( - ) [ - ]	若干名	7人 ( - ) [ - ]	人	0.95倍	
志願者数	6 ( 3 ) [ - ]	4 ( 1 ) [ 3 ]	4 ( 1 ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	5 ( 2 ) [ 1 ]			
受験者数	6 ( 3 ) [ - ]	4 ( 1 ) [ 3 ]	4 ( 1 ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	5 ( 2 ) [ 1 ]			
合格者数	6 ( 3 ) [ - ]	4 ( 1 ) [ 3 ]	4 ( 1 ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	5 ( 2 ) [ 1 ]			
B 入学者数	6 ( 3 ) [ - ]	4 ( 1 ) [ 3 ]	4 ( 1 ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	5 ( 2 ) [ 1 ]			
入学定員超過率 B/A	1.42		0.71		0.71			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。



(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	6 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	4 [ - ] ( - )	4 [ 3 ]	5 [ 1 ]	1 [ 1 ]	
2年次	/		6 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	4 [ - ] ( - )	4 [ 3 ] ( - )	
3年次			/				6 [ - ] ( - )
計	6 [ 0 ] ( - )				14 [ 3 ] ( - )		20 [ 5 ] ( - )

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	6人	0人	平成28年度	人	人	
平成29年度	14人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	20人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	40人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1			1						1
	知的財産特論	1後	1			1						2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						2
	リサーチメソッドロジー特論	1-2前		2		1						1
	イノベーション特論	1-2前		2		1						1
	技術ロードマッピング特論	1-2後		2		1						1
	製品開発特論	1-2後		2		1						1
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1						2
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前・後		1~4		1						
長期インターンシップⅡ	1-2-3前・後		6		1							
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	ライフサイエンス展開科目Ⅰ	1-2前		2		6						2
	ライフサイエンス展開科目Ⅱ	1-2後		2		6						1
	ライフサイエンスゼミナールⅠ	1-2前		2		21	19		6			16
	ライフサイエンスゼミナールⅡ	1-2後		2		21	19		6			16
専門科目	バイオメカニクス特論	1-2前・後	2			1						
	微小生体機械学特論	1-2前・後	2			1			1			
	先端医用材料特論	1-2前・後	2				1					
	非侵襲診断工学特論	1-2前・後	2				1					
	計算機援用医用診断工学特論	1-2前・後	2			1	1					
	分子発生生物学特論	1-2前	2			2	1					
	分子発生生物学演習	1-2前	2			2	1					
	環境適応生物学特論	1-2後	2				3					1
	環境適応生物学演習	1-2後	2				3					1
	分子細胞生物学特論	1-2前	2			2	2					
	分子細胞生物学演習	1-2前	2			2	2					
	生物機能工学特論	1-2前・後	2			1	1					
	生物機能工学演習	1-2前・後	2			1	1					
	有機合成化学特論	1-2前・後	2			1	1					
	有機合成化学演習	1-2前・後	2			1	1					
	バイオプロセス工学特論	1-2前・後	2			1	1			1		
	バイオプロセス工学演習	1-2前・後	2			1	1			1		
	生物機能開発科学特論	2通	2			3	1		2			
	生物機能開発科学演習	1-2-3通	2			3	1		2			
	生物機能科学特論	2通	2			3	3		1			
生物機能科学演習	1-2-3通	2			3	3		1				
生物資源環境科学特論	1-2-3前	2			2	1					1	
生物資源環境科学演習	1-2-3後	2			2	1					1	
ライフサイエンス戦略と知的財産	2前		1								2	

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1									1
	知的財産特論	1後	1									2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1								2
	プレゼンテーション特論	1後		1								2
	リサーチメソッドロジー特論	1-2前		2								1
	イノベーション特論	1-2前		2								1
	技術ロードマッピング特論	1-2後		2								1
	製品開発特論	1-2後		2								1
	キャリアデザインⅡ	1前		2			1					2
	学外特別研修Ⅱ	1-2-3前・後		1~4			1					
長期インターンシップⅡ	1-2-3前・後		6			1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	ライフサイエンス展開科目Ⅰ	1-2前		2		6	1					2
	ライフサイエンス展開科目Ⅱ	1-2後		2		6	7					1
	ライフサイエンスゼミナールⅠ	1-2前		2		22	16		10			15
	ライフサイエンスゼミナールⅡ	1-2後		2		22	16		10			15
専門科目	バイオメカニクス特論	1-2前・後	2				1					
	微小生体機械学特論	1-2前・後	2				1			1		
	先端医用材料特論	1-2前・後	2				1					
	非侵襲診断工学特論	1-2前・後	2					1				
	計算機援用医用診断工学特論	1-2前・後	2			1	1					
	分子発生生物学特論	1-2前	2			2	1					
	分子発生生物学演習	1-2前	2			2	1					
	環境適応生物学特論	1-2後	2				3					1
	環境適応生物学演習	1-2後	2				3					1
	分子細胞生物学特論	1-2前	2			2	2					
	分子細胞生物学演習	1-2前	2			2	2					
	生物機能工学特論	1-2前・後	2				1					
	生物機能工学演習	1-2前・後	2				1					
	有機合成化学特論	1-2前・後	2			1	1					
	有機合成化学演習	1-2前・後	2			1	1				1	
	バイオプロセス工学特論	1-2前・後	2			1	1					
	バイオプロセス工学演習	1-2前・後	2			1	1		2			
	生物機能開発科学特論	2通	2			3	1			2		
	生物機能開発科学演習	1-2-3通	2			3	1			2		
	生物機能科学特論	2通	2			3	3			1		
生物機能科学演習	1-2-3通	2			3	3			1			
生物資源環境科学特論	1-2-3前	2			2	1					1	
生物資源環境科学演習	1-2-3後	2			2	1					1	
ライフサイエンス戦略と知的財産	2前		1								2	

【平成28年度】

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1								1
	知的財産特論	1後	1								2
	サイエンティフィックライティング	1前		1							2
	プレゼンテーション特論	1後		1							2
	リサーチメソッドロジー特論	1・2前		2							1
	イノベーション特論	1・2前		2							1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2							1
	製品開発特論	1・2後		2							1
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1					2
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1					
	ライフサイエンス展開科目Ⅰ	1・2前		2		3	1				2
	ライフサイエンス展開科目Ⅱ	1・2後		2		7					
	ライフサイエンスゼミナールⅠ	1・2前		2		22	16		11		16
	ライフサイエンスゼミナールⅡ	1・2後		2		22	16		11		16
専門科目	バイオメカニクス特論	1・2前・後		2		2					
	微小生体機械学特論	1・2前・後		2		1			1		
	先端医用材料特論	1・2前・後		2			1				
	非侵襲診断工学特論	1・2前・後		2			1				
	計算機援用医用診断工学特論	1・2前・後		2		1					
	分子発生物学特論	1・2前・後		2		2	1				
	分子発生物学演習	1・2前・後		2		2	1				
	環境適応生物学特論	1・2前・後		2		1	1				1
	環境適応生物学演習	1・2前・後		2		1	1				1
	分子細胞生物学特論	1・2前・後		2		2	2				
	分子細胞生物学演習	1・2前・後		2		2	2				
	生物機能工学特論	1・2前・後		2		1	1				
	生物機能工学演習	1・2前・後		2		1	1				
	有機合成化学特論	1・2前・後		2		1	1				
	有機合成化学演習	1・2前・後		2		1	1				1
	バイオプロセス工学特論	1・2前・後		2		1	1			1	
	バイオプロセス工学演習	1・2前・後		2		1	1			1	
	生物機能開発科学特論	2通		2		3	1		2		
	生物機能開発科学演習	1・2・3通		2		3	1		2		
	生物機能科学特論	2通		2		3	3		1		
生物機能科学演習	1・2・3通		2		3	3		1			
生物資源環境科学特論	1・2・3前		2		2	1		1			
生物資源環境科学演習	1・2・3後		2		2	1		1			
ライフサイエンス戦略と知的財産	2前		1							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	研究者行動規範特論	1前	1								1
	知的財産特論	1後	1								2
	サイエンティフィックライティング	1前		1							2
	プレゼンテーション特論	1後		1							2
	リサーチメソッドロジー特論	1・2前		2							1
	イノベーション特論	1・2前		2							1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2							1
	製品開発特論	1・2後		2							1
	キャリアデザインⅡ	1前		2		1					2
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1					
	ライフサイエンス展開科目Ⅰ	1・2前		2		3	1				2
	ライフサイエンス展開科目Ⅱ	1・2後		2		7					
	ライフサイエンスゼミナールⅠ	1・2前		2		22	16		11		16
	ライフサイエンスゼミナールⅡ	1・2後		2		22	16		11		16
専門科目	バイオメカニクス特論	1・2前・後		2		2					
	微小生体機械学特論	1・2前・後		2		1			1		
	先端医用材料特論	1・2前・後		2			1				
	非侵襲診断工学特論	1・2前・後		2			1				
	計算機援用医用診断工学特論	1・2前・後		2		1					
	分子発生物学特論	1・2前・後		2		2	1				
	分子発生物学演習	1・2前・後		2		2	1				
	環境適応生物学特論	1・2前・後		2		1	2				1
	環境適応生物学演習	1・2前・後		2		1	2				1
	分子細胞生物学特論	1・2前・後		2		2	2				
	分子細胞生物学演習	1・2前・後		2		2	2				
	生物機能工学特論	1・2前・後		2		2	1				
	生物機能工学演習	1・2前・後		2		2	1				
	有機合成化学特論	1・2前・後		2		1	1				
	有機合成化学演習	1・2前・後		2		1	1				1
	バイオプロセス工学特論	1・2前・後		2		1	1		1		
	バイオプロセス工学演習	1・2前・後		2		1	1		1		
	生物機能開発科学特論	2通		2		3	1		2		
	生物機能開発科学演習	1・2・3通		2		3	1		2		
	生物機能科学特論	2通		2		3	3		1		
生物機能科学演習	1・2・3通		2		3	3		1			
生物資源環境科学特論	1・2・3前		2		2	1		1			
生物資源環境科学演習	1・2・3後		2		2	1		1			
ライフサイエンス戦略と知的財産	2前		1							2	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成28年度】**

- ・教育効果充実のため、「研究者行動規範特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「知的財産特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更
- ・教育効果充実のため、「サイエンティフィック・ライティング」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更
- ・教育効果充実のため、「プレゼンテーション特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「兼2」に変更
- ・教育効果充実のため、「リサーチメソッドロジー特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「技術ロードマッピング特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「製品開発特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「ライフサイエンス展開科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6・兼2」から「教授3・准教授1・兼2」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「ライフサイエンス展開科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6・兼1」から「教授7」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「ライフサイエンスゼミナールⅠ」及び「ライフサイエンスゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授19・助教6・兼16」から「教授22・准教授16・助教11・兼16」に変更
- ・教育効果充実のため、「バイオメカニクス特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更
- ・具体的な担当教員の確定により、「計算機援用医用診断工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更
- ・教育効果充実のため、「分子発生物学特論」、「分子発生物学演習」、「分子細胞生物学特論」、「分子細胞生物学演習」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更
- ・教育効果充実のため、「環境適応生物学特論」「環境適応生物学演習」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
- ・教育効果充実のための変更及び担当教員の昇任により、「環境適応生物学特論」「環境適応生物学演習」の専任教員等の配置を「准教授3・兼1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更

**【平成29年度】**

- ・教育効果充実のため、「環境適応生物学特論」「環境適応生物学演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼1」から「教授1・准教授2・兼1」に変更
- ・教育効果充実のため、「生物機能工学特論」及び「生物機能工学演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授2・准教授1」に変更
- ・教育効果充実のため、「有機合成化学演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・助教1」に変更

**【平成30年度】**

- ・担当教員の退職により、「ライフサイエンス展開科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・兼2」から「教授2・准教授1・兼2」に変更
- ・担当教員の昇任により、「ライフサイエンスゼミナールⅠ」及び「ライフサイエンスゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授22・准教授16・助教11・兼16」から「教授22・准教授16・助教10・兼15」に変更
- ・担当教員の退職のため、「バイオメカニクス特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「先端医用材料特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・教育効果充実のため、「バイオプロセス工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「バイオプロセス工学演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授2」に変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	37 科目		40 科目	3 科目 [ ]	37 科目 [ ]		40 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{40} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	区分の見直しによる変更(30)			
	校舎敷地	413,643 360,369 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	413,643 360,369 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	127,053 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	127,053 m <sup>2</sup>				
	小 計	540,696 487,422 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	540,696 487,422 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	64,370 117,644 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	64,370 117,644 m <sup>2</sup>				
	合 計	605,066 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	605,066 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		391,082 m <sup>2</sup> ( 391,082 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	391,082 m <sup>2</sup> ( 391,082 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		103 室	702 室	787 室	5 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		創成科学研究科ライフサイエンス系専攻		49 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分を含む  教育研究の充実及び購入計画の見直し等による変更(30)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
		冊	種	[うち外国書]					
		点	点	点					
創成科学研究科 ライフサイエ ンス専攻	1,614,196 [468,286] 1,623,875 [470,701] <del>(1,614,196 [468,286])</del> (1,623,875 [470,701])	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885] <del>(41,438 [16,319])</del> (30,991 [ 9,885])	10,217 [6,056] 7,415 [6,152] <del>(10,217 [6,056])</del> (7,415 [6,152])	3,773 3,336 <del>( 3,773)</del> ( 3,336)	16 153 <del>( 16)</del> ( 153)	0 0 <del>( 0)</del> ( 0)			
計	1,614,196 [468,286] 1,623,875 [470,701] <del>(1,614,196 [468,286])</del> (1,623,875 [470,701])	41,438 [16,319] 30,991 [ 9,885] <del>(41,438 [16,319])</del> (30,991 [ 9,885])	10,217 [6,056] 7,415 [6,152] <del>(10,217 [6,056])</del> (7,415 [6,152])	3,773 3,336 <del>( 3,773)</del> ( 3,336)	16 153 <del>( 16)</del> ( 153)	0 0 <del>( 0)</del> ( 0)			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		13,063 m <sup>2</sup>		1,590 席	1,501,056 冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		6,956 m <sup>2</sup>		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
【学部】									
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (人文学部：人文社会学科, 言語文化学科)
人文学科	4	185	-	555	学士 (文学)	1.06	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成5年度		
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (教育学部：実践臨床教育課程, 情報科学教育課程, 健康科学教育課程, 総合文化教育課程)
学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士 (教育学)	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成10年度		
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成元年度		
経済学部								山口県山口市吉田1677番地1	平成27年度より学生募集停止 (経済学部：国際経済学科, 経済法学科, 商業教員養成課程)
経済学科	4	130	-	520	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	660	学士 (経済学)	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和52年度		
経済法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	昭和55年度		
観光政策学科	4	50	-	200	学士 (経済学)	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和29年度		
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.08	平成18年度		
医学部			2年次					山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成30年度より3年次編入学生募集停止 (医学部保健学科)
医学科	6	107	10	692	学士 (医学)	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	-	495	学士 (看護学, 保健学)	1.01	平成12年度		



工学部			3年次					山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	5	370	学士 (工学)	1.07	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.02	平成19年度		
			3年次						
電気電子工学科	4	80	5	330	学士 (工学)	1.03	平成2年度		
			3年次						
知能情報工学科	4	80	10	340	学士 (工学)	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.06	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.07	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	※平成24年度より 学生募集停止（農 学部獣医学科）
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.02	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度		
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.04	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	400	学士 (学術)	1.04	平成27年度		
【大学院】									
人文科学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.62	平成28年度		
教育学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.35	平成3年度		
教科教育専攻	2	17	-	34	修士 (教育学)	1.05	平成3年度		
(専門職学位課程)									
教職実践高度化専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度		
経済学研究科 (修士課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士 (経済学)	0.81	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.70	平成7年度		

医学系研究科							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止 (医学系研究科： (一貫制博士課程) システム統御医学系専攻、情報解析医学系専攻、(博士前期課程)応用医工学専攻、(博士後期課程)応用医工学系専攻、応用分子生命科学系専攻)	
(一貫制博士課程)									
医学専攻	4	33	-	99	博士 (医学)	0.93			平成28年度
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-			平成18年度
(博士前期課程)									
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士 (医工学)	-			平成13年度
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (保健学)	1.08			平成17年度
(博士後期課程)									
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士 (医工学)	-			平成13年度
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学、学術)	-			平成18年度
保健学専攻	3	5	-	15	博士 (保健学)	0.86			平成19年度
創成科学研究科									山口県山口市吉田1677番地1
(博士前期課程)									
基盤科学系専攻	2	38	-	76	修士 (理学)	0.98	平成28年度		
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	84	修士 (理学)	1.05	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	0.95	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	148	修士 (工学)	0.81	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	166	修士 (工学、学術)	0.95	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	214	修士 (工学)	0.96	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	84	修士 (農学、生命科学)	0.66	平成28年度		
(鳥取大学大学院 連合農学研究科に参加)									
(博士後期課程)									
自然科学系専攻	3	7	-	21	博士 (理学、学術)	0.61	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	30	博士 (工学、学術)	0.76	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	36	博士 (工学、学術)	1.05	平成28年度		
物質工学系専攻	3	8	-	24	博士 (工学、学術)	0.41	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	21	博士 (医工学、生命科学、学術)	1.09	平成28年度		
理工学研究科							山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止 (理工学研究科： (博士後期課程)自然科学基盤系専攻、物質工学系専攻、システム設計工学系専攻、情報・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻)	
(博士後期課程)									
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-			平成18年度
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-			平成18年度
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度		

情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士 (理学, 工学, 学術)	-	平成18年度		
東アジア研究科 (博士後期課程)								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士 (学術)	1.13	平成13年度		
技術経営研究科 (専門職学位課程)								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営 修士 (専門職)	1.36	平成17年度		
連合獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	4	-	40	博士 (獣医学)	1.62	平成2年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鳥取大学 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	平成30年度入学定員減(△8人) (連合獣医学研究科：獣医学専攻)
共同獣医学研究科 (一貫制博士課程)									
獣医学専攻	4	6	-	6	博士 (獣医学)	1.16	平成30年度	山口大学 山口県山口市吉田1677番地1 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻(博士後期課程)>

(1) ①担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	木戸 尚治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII ライフサイエンス展開科目I	専	教授	木戸 尚治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII ライフサイエンス展開科目I	専	教授	木戸 尚治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII ライフサイエンス展開科目I	専	教授	木戸 尚治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII ライフサイエンス展開科目I
専	准教授	平野 靖 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII	専	准教授	平野 靖 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII	専	准教授	平野 靖 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII	専	准教授	平野 靖 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII
専	教授	赤田 倫治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 生物機能工学特論 生物機能工学演習	専	教授	赤田 倫治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 生物機能工学特論 生物機能工学演習	専	教授	赤田 倫治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 生物機能工学特論 生物機能工学演習	専	教授	赤田 倫治 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 生物機能工学特論 生物機能工学演習
専	教授	上村 明男 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習	専	教授	上村 明男 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習	専	教授	上村 明男 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習	専	教授	上村 明男 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習
専	教授	堤 宏守 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII ライフサイエンス展開科目I	専	教授	堤 宏守 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII	専	教授	堤 宏守 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII <b>生物機能工学特論 生物機能工学演習</b>	専	教授	堤 宏守 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII <b>生物機能工学特論 生物機能工学演習</b>
専	教授	山本 修一 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII バイオプロセス工学特論 バイオプロセス工学演習 ライフサイエンス展開科目I	専	教授	山本 修一 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII バイオプロセス工学特論 バイオプロセス工学演習 ライフサイエンス展開科目I	専	教授	山本 修一 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII バイオプロセス工学特論 バイオプロセス工学演習 ライフサイエンス展開科目I	専	教授	山本 修一 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII バイオプロセス工学特論 バイオプロセス工学演習 ライフサイエンス展開科目I
専	准教授	西形 孝司 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習	専	准教授	西形 孝司 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習	専	准教授	西形 孝司 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習	専	准教授	西形 孝司 <平成28年4月> ライフサイエンスゼミナールI ライフサイエンスゼミナールII 有機合成化学特論 有機合成化学演習



















専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング	兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング	兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング	兼任	講師	秋谷 直矩 <平成28年4月> サイエンティフィック・ライティング
兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	教授	川崎 勝 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論	兼任	准教授	小川 仁志 <平成28年4月> プレゼンテーション 特論
兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論	兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論	兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> リサーチメソドロ ジー特論 イノベーション特論	兼任	准教授	大島 直樹 <平成28年4月> イノベーション特論
兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論	兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論	兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論	兼任	教授	岡本 和也 <平成28年4月> 技術ロードマッピ ング特論 製品開発特論
									兼任	教授	福代 和宏 <平成30年4月> リサーチメソドロ ジー特論
兼任	講師	岡村 誉之 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ	兼任	講師	岡村 誉之 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ	兼任	講師	岡村 誉之 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ	兼任	講師	岡村 誉之 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ
兼任	助教	上野 耕司 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ	兼任	助教	上野 耕司 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ	兼任	助教	上野 耕司 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ	兼任	助教	上野 耕司 <平成28年4月> ライフサイエンス展 開科目Ⅰ
兼任	教授	明石 真 <平成28年4月> 環境適応生物学特論 環境適応生物学演習 ライフサイエンス展 開科目Ⅱ	兼任	教授	明石 真 <平成28年4月> 環境適応生物学特論 環境適応生物学演習 ライフサイエンス展 開科目Ⅱ	兼任	教授	明石 真 <平成28年4月> 環境適応生物学特論 環境適応生物学演習 環境適応生物学演習	兼任	教授	明石 真 <平成28年4月> 環境適応生物学特論 環境適応生物学演習
兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	濱田 純夫 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ
兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ	兼任	アドバイザー	増山 博行 <平成28年4月> キャリアデザインⅡ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- 平成27年10月山中准教授が教授に昇任
- 平成28年4月木股准教授、武宮准教授、蔦飛助教、門脇助教を採用
- 平成28年4月森川教授、岩尾教授、佐助助教、肥塚助教、吉本助教の担当授業科目を変更
- 平成29年2月上野助教が退職

【平成29年度】

- 平成29年4月小島助教を採用
- 平成29年4月堤教授、岩尾教授、武宮准教授、川本助教の担当授業科目を変更
- 平成30年3月森川教授が退職

【平成30年度】

- 平成30年4月大木准教授、吉本准教授が教授に昇任
- 平成30年4月祐村教授の担当授業科目を変更
- 平成30年4月兼任教員として、福代教授就任

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
21	19	0	9	49	22	16	0	10	48	22	16	0	10	48
(22)	(16)	(0)	(9)	(47)						[ 1 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
30	19	0			28	20	0			28	20	0		
(28)	(19)	(0)								[ Δ2 ]	[ 1 ]	[ 0 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C) =  $\frac{48}{49}$  =  %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{0}{48}$  =  %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	准教授	泉 友則	選択	ライフサイエンスゼミナールⅠ	①	H28.3.31 本人の都合により就任辞退(28)				
			選択	ライフサイエンスゼミナールⅡ	①					
2	准教授	榎 忠彦	選択	ライフサイエンスゼミナールⅠ	①	H28.3.31 本人の都合により就任辞退(28)				
			選択	ライフサイエンスゼミナールⅡ	①					
3	准教授	山本 健	選択	ライフサイエンスゼミナールⅠ	①	H28.3.31 本人の都合により就任辞退(28)				
			選択	ライフサイエンスゼミナールⅡ	①					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	助教	上野 和英	選択	ライフサイエンスゼミナールⅠ	①	H29.2.28付け他大学へ就職のため辞任(29)				
			選択	ライフサイエンスゼミナールⅡ	①					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{49} = 8.16 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	森川 治	選択	ライフサイエンス 展開科目Ⅰ	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)				
			選択	ライフサイエンス ゼミナールⅠ	①					
			選択	ライフサイエンス ゼミナールⅡ	①					
			選択	バイオメカニクス 特論	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 担当科目は他に担当教員がいるため支障はない。</p> <p>【学生への周知方法】 研究科要覧により周知している。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年 4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年 2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年度 6月27日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己点検・評価に関する事項</li> <li>・教員の教育・研究及び評価に関する事項</li> <li>・教員の能力開発に関する事項 等</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開</li> <li>・全学FD・SD講演会</li> <li>・教育改善FD研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開 期間を定めて公開授業を実施し，教員に授業を参観させた。</li> <li>・全学FD・SD講演会 本学の大学教育センター教員の他，学内外の講師で開催されたアクティブラーニングにおける諸問題とその解決策に関する講演会を遠隔講義システムで受信し聴講を行った。</li> <li>・教育改善FD研修会 本学の大学教育センター教員を講師として，カリキュラムマップ及びカリキュラムフローチャートの見直しに関する研修を行った。</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開 参観者数：5名</li> <li>・全学FD・SD講演会 参加者数：3名</li> <li>・教育改善FD研修会 参加者数：29名</li> </ul>
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、講演会、研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成31年8月 公表予定

b 公表方法

・山口大学自己点検評価書を作成し、大学ホームページにて公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受審、次回受審年度は平成33年度を予定している。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 9 月 1 日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。